

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

活用ガイド ソフトウェア編

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの追加と削除

パソコンのメンテナンスと管理

トラブル解決 Q&A

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



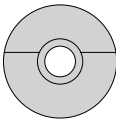
『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。

- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介



『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。

- ・再セットアップの方法



『アプリケーションCD-ROM / マニュアル CD-ROM』
『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・アプリケーションの利用方法
- ・他のOSを利用する場合の設定
- ・トラブル解決Q&A



はじめに

このマニュアルは、パソコンにインストールまたは添付されているアプリケーションについて説明しています。

また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や解決方法について説明しています。

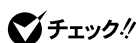
2001年 5月 初版

対象機種

VA10J/WX、VA90J/WX、VA80J/WX、VA75H/WX、VA75H/WT、VA75H/WS、VA70J/VH、VA60H/TM、VA70H/RX、VA70H/RS

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明していません。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

PART4「トラブル解決 Q&A」では、トラブルの解決や、やりたいことを実行するために必要な手順やチェックポイントを次のアイコンで示しています。



Windows Me / Windows 98 / Windows2000 / Windows NT 4.0をお使いの場合の手順やチェックポイントについて示しています。



Windows Meをお使いの場合の手順やチェックポイントについて示しています。



Windows 98をお使いの場合の手順やチェックポイントについて示しています。



Windows 2000をお使いの場合の手順やチェックポイントについて示しています。



Windows NT 4.0をお使いの場合の手順やチェックポイントについて示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

コンパクトオールインワンノート	VA10J/WX、VA90J/WX、VA80J/WX、VA75H/WX、VA75H/WT、VA75H/WS
モバイルノート	VA70J/VH、VA60H/TM
モバイルノート (ベイ内蔵型)	VA70J/VH
モバイルノート (長時間駆動型)	VA60H/TM
VersaPro Rコンパクト オールインワンノート	VA70H/RX、VA70H/RS

Windows Meモデル	Windows Me/Windows 98セレクトابلモデルで、Windows Meを選択した場合を指します。
Windows 98モデル	Windows Me/Windows 98セレクトابلモデルで、Windows 98を選択した場合を指します。
Windows 2000モデル	Windows 2000/Windows NTセレクトابلモデルで、Windows 2000を選択した場合、またはWindows 2000があらかじめインストールされているモデルの場合を指します。
Windows NTモデル	Windows 2000/Windows NTセレクトابلモデルで、Windows NTを選択した場合を指します。
Windows Me	Windows Meを使用している場合の説明です。
Windows 98	Windows 98を使用している場合の説明です。
Windows 2000	Windows 2000を使用している場合の説明です。
Windows NT	Windows NTを使用している場合の説明です。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことで、す。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵または添付しているモデルのことで、す。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことで、す。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことで、す。
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーションやAtermIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことで、す。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことで、す。
Office XP Personalモデル	Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデルのことで、す。
Office XP Professionalモデル	Office XP Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことで、す。
Office XPモデル	Office XP PersonalまたはOffice XP Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことで、す。
Office 2000 Personalモデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことで、す。
Office 2000 Professionalモデル	Office 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことで、す。
Office 2000モデル	Office 2000 PersonalまたはOffice 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことで、す。
暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことで、す。
内蔵指紋センサモデル	指紋センサを内蔵しているモデルのことで、す。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」	「スタート」ボタンをクリックし、現われたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現われたサブメニューから「アクセサリ」を選択する操作を指します。
「コントロールパネル」を開く	「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」 をクリックする操作を指します。 Windows Meの「コントロールパネル」の画面に操作したいアイコンが表示されていない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてアイコンを表示させてください。
BIOSセットアップメニュー	BIOSセットアップメニューまたはBIOSセットアップユーティリティを指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版 またはMicrosoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 2000、 Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版
Windows 3.1	Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Windows	Windows Me、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows 2000、Windows NT 4.0のすべてを指します。
Internet Explorer5.5	Microsoft® Internet Explorer 5.5
Internet Explorer 5.01	Microsoft® Internet Explorer 5.01
Internet Explorer 4.01 SP2	Microsoft® Internet Explorer 4.01 SP2
インターネットエクスプローラ	Internet Explorer 5.5、Internet Explorer 5.01、Internet Explorer 4.01 SP2のすべてを指します。
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 5.5
Office XP ステップ バイ ステップ インタラクティブ	Microsoft® Office XP Personal Step By Step Interactive

本文中の表記	正式名称
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office XP Professional	Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft PowerPoint® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 2002	Microsoft® IME 2002
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.05
VirusScan	VirusScan Ver4.5

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本書に記載のイラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

Windows NTモデルをお使いの方へ

本書では、「Internet Explorer 4.01 SP2」を利用している場合の操作を中心に記載しています。ご購入後、「Internet Explorer 5.01」をインストールしてご利用の場合には、画面や操作手順が異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、レーザーに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが内蔵または添付されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えます。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、VersaPro Rコンパクトオールインワンノートの保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
上記以外の機種種の海外における保守・修理対応は、海外保証サービス NEC UltraCareSM International Service 対象機種種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
サービスの詳細や対象機種種については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/>
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft[®] Windowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、Windows Media、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

McAfee VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPumatech, Inc.の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPIは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SymantecおよびpcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PGPIは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。IntelおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager (with NEC Extensions) は、Intel[®] LANDesk[®] Client Managerのテクノロジーを使用しています。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

Virtual CDはFar Stone Tech, Inc.の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

VersaPro Rコンパクトオールインワン ノートの場合

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product(including software)is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product(including carrying it as personal baggage)may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law.Export without necessary permit is punishable under the said law.Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

VersaPro Rコンパクトオールインワン ノート以外の場合

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス NEC UltraCareSM International Service 対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

添付アプリケーションについて	15
添付アプリケーションの紹介	16
本機に添付のアプリケーション	16
アプリケーションを使う前に	22
Office XP Personal	22
Office XP Professional	23
Office 2000 Personal	25
Office 2000 Professional	26
インターネットエクスプローラ	27
Outlook Express	27
インターネット設定切替ツール	27
Virtual CD 2	28
Acrobat Reader	28
Intellisync	28
マニュアルCD-ROM	34
VirusScan	34
CyberAccess	34
Intel® LANDesk® Client Manager (α with NEC Extensions)	40
英語モードフォント	42
Masty Data Backup	43
pcAnywhere 9.2 EX	43
PGP Personal Privacy	44
自動メール受信ユーティリティ	45
ワンタッチスタートボタンの設定	49

添付アプリケーションの追加と削除	51
追加の前に	52
追加するときの注意	52
追加の準備	52
追加のしかた	54
Office XP Personal	54
Office XP Professional	54
Office 2000 Personal	55
Office 2000 Professional	55
インターネットエクスプローラ	56
インターネット設定切替ツール	57

Virtual CD 2.....	58
Acrobat Reader	58
Intellisync.....	59
VirusScan	60
CyberAccess.....	61
Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions).....	64
英語モードフォント	66
Masty Data Backup	67
pcAnywhere 9.2 EX.....	67
PGP Personal Privacy	68
削除の前に	71
削除するときの注意	71
削除の準備	72
アイコン削除の準備	72
削除のしかた	73
Office XP Personal	73
Office XP Professional	74
Office 2000 Personal	76
Office 2000 Professional	79
インターネット設定切替ツール	83
Virtual CD 2.....	84
Acrobat Reader	85
Intellisync.....	85
VirusScan	86
CyberAccess.....	87
Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions).....	88
英語モードフォント	89
Masty Data Backup	90
pcAnywhere 9.2 EX.....	91
PGP Personal Privacy	92

パソコンのメンテナンスと管理 93

パソコンをウイルスから守る	94
コンピュータウイルスとは	94
VirusScanを使ってウイルスを駆除する	95
ハードディスクのメンテナンス	97
バックアップ	97

システムの復元(Windows Meのみ)	97
その他のメンテナンス	97
トラブル解決 Q&A	99
はじめて電源を入れたとき	100
電源を入れたとき	101
電源を切るとき	112
省電力機能(Windows Meの場合)	115
省電力機能(Windows 98の場合)	119
省電力機能(Windows 2000の場合)	124
省電力機能(Windows NT 4.0の場合)	128
バッテリー	130
表示	132
NXパッド	143
文字入力	147
ファイル保存	153
インターネット / パソコン通信	154
ネットワーク(LAN)	167
赤外線通信(赤外線通信ポートのあるモデル)	170
サウンド	172
印刷	173
フロッピーディスク	175
ハードディスク	178
CD-ROM / CD-R / CD-RW / DVD-ROM	182
周辺機器	188
アプリケーション	197
その他	207

付録	217
他のOSを利用する	218
Windows 2000 Professionalを使う	218
Windows NT 4.0を使う(コンパクトオールインワンノートの場合) ..	218
Windows Meを使う	219
Windows 98/Windows 98 Second Editionを使う	219
Windows 98でMS-DOSモードを利用する	220
MS-DOSモードを利用する	220
MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、 CD-R/RW with DVD-ROMドライブを利用する	221
アフターケアについて	227
索引	231
トラブル解決 Q&A内容一覧	232
索引	239
トラブルチェックシート	241

P A R T

1

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。

添付アプリケーションの紹介

本機に添付のアプリケーション

本機には、次のようなアプリケーションが添付されています。

アプリケーションCD-ROMや専用CD-ROMに格納されているアプリケーションを使うときは、PART2の「追加のしかた」の手順にしたがってアプリケーションをハードディスクにインストールしてください。

コンパクトオールインワンノートの場合

- ： プリインストールのみ
(バックアップCD-ROMで再セットアップ)
- ： プリインストール / 専用CD-ROMに格納
- 1： バックアップCD-ROM#3に格納
- 2： アプリケーションCD-ROMに格納
- 3： 専用CD-ROMに格納
- 4： マニュアルCD-ROMに格納
- ： 非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル	Windows NTモデル
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office XP Personal(Office XP Personalモデルのみ)				
	Office XP Professional(Office XP Professionalモデルのみ)				
	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)				
	Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)				
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer 5.5				
	Internet Explorer 5.01				1
	Internet Explorer 4.01 SP2				
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express				

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル	Windows NTモデル
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	2	2	2	2
CD-R/RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	3	3	3	3
CD-R/RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	3	3	3	3
音楽CDやMP3データ、DVD VIDEOディスクの再生	Jet-Audio Player(CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	3	3	3	3
PDFファイルの表示/印刷	Acrobat Reader	2	2	2	2
赤外線通信用ツール	Intellisync		2		2
マニュアル	活用ガイド ハードウェア編 活用ガイド ソフトウェア編	4	4	4	4
ウイルスチェック/駆除	VirusScan	2	2	2	2
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	2	2	2	2
パソコンの保守	Intel®LANDesk®Client Manager 6(with NEC Extensions)	2	2	2	2
英語モードフォントと日本語モードフォントの切り替え	英語モードフォント		2		
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	2	2	2	2
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	2	2	2	2
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	2	2	2	2
メール受信ユーティリティ	自動メール受信ユーティリティ				
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定				

モバイルノート(ペイ内蔵型)の場合

- : プリインストールのみ
(バックアップCD-ROMで再セットアップ)
- : プリインストール / 専用CD-ROMに格納
- 1: アプリケーションCD-ROMに格納
- 2: 専用CD-ROMに格納
- 3: マニュアルCD-ROMに格納
- : 非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office XP Personal(Office XP Personalモデルのみ)			
	Office XP Professional(Office XP Professionalモデルのみ)			
	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)			
	Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)			
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer 5.5			
	Internet Explorer 5.01			
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express			
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	1	1	1
仮想CDソフト	Virtual CD 2	1	1	
CD-R/RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	2	2	2
CD-R/RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	2	2	2
音楽CDやMP3データ、DVD VIDEOディスクの再生	Jet-Audio Player(CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	2	2	2
PDFファイルの表示 / 印刷	Acrobat Reader	1	1	1
マニュアル	活用ガイド ハードウェア編 活用ガイド ソフトウェア編	3	3	3
ウイルスチェック / 駆除	VirusScan	1	1	1

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	1	1	1
パソコンの保守	Intel®LANDesk®Client Manager 6(with NEC Extensions)	1	1	1
英語モードフォントと日本語モードフォントの切り替え	英語モードフォント		1	
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	1	1	1
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	1	1	1
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	1	1	1
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定ツール			

モバイルノート(長時間駆動型)の場合

- : プリインストールのみ
(バックアップCD-ROMで再セットアップ)
- : プリインストール / 専用CD-ROMに格納
- 1: アプリケーションCD-ROMに格納
- 2: マニュアルCD-ROMに格納
- : 非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office XP Personal(Office XP Personalモデルのみ)			
	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)			
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer 5.5			
	Internet Explorer 5.01			
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express			
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	1	1	1
仮想CDソフト	Virtual CD 2	1	1	
PDFファイルの表示 / 印刷	Acrobat Reader	1	1	1

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル
赤外線通信ツール	Intellisync		1	
マニュアル	活用ガイド ハードウェア編 活用ガイド ソフトウェア編	2	2	2
ウイルスチェック/駆除	VirusScan	1	1	1
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	1	1	1
パソコンの保守	Intel®LANDesk®Client Manager 6(with NEC Extensions)	1	1	1
英語モードフォントと日本語モードフォントの切り替え	英語モードフォント		1	
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	1	1	1
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	1	1	1
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	1	1	1
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定			

VersaPro Rコンパクトオールインワンノートの場合

- : プリインストールのみ
(バックアップCD-ROMで再セットアップ)
- : プリインストール / 専用CD-ROMに格納
- 1: アプリケーションCD-ROMに格納
- 2: 専用CD-ROMに格納
- 3: マニュアルCD-ROMに格納
- : 非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office XP Personal(Office XP Personalモデルのみ)			
	Office XP Professional(Office XP Professionalモデルのみ)			
	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)			

おもな機能	アプリケーションの名称	Windows Meモデル	Windows 98モデル	Windows 2000モデル
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer 5.5			
	Internet Explorer 5.01			
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express			
CD-R/RW へのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	2	2	2
CD-R/RW へのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	2	2	2
音楽CD やMP3 データ、DVD VIDEOディスクの再生	Jet-Audio Player(CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	2	2	2
PDFファイルの表示 / 印刷	Acrobat Reader	1	1	1
マニュアル	活用ガイド ハードウェア編 活用ガイド ソフトウェア編	3	3	3
ウイルスチェック / 駆除	VirusScan	1	1	1
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	1	1	1
英語モードフォントと日本語モードフォントの切り替え	英語モードフォント		1	
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	1	1	1
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定			



アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

アプリケーションの種類や添付形態については、PART1の「本機に添付のアプリケーション」(p.16)でご確認ください。

Office XP Personal

Office XP Personalは、次のアプリケーションで構成されています。

- ・ Excel(表計算ソフト)
- ・ Word(ワードソフト)
- ・ Outlook(メール / スケジュール管理ソフト)

添付の「Office XP ステップ バイ ステップ インタラクティブ」を使うと、ワープロや表計算ソフトの操作の解説を見ることができます。

購入後に初めて起動したときの設定

Office XP 使用許諾契約書

Excel、Word、Outlookのいずれかを初めて起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」の画面が表示されます。契約に同意のうえ、「同意する」をクリックしてください。

Outlookの設定

Outlookを初めて起動したときには、「Outlook 2002 スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

- 1** 「次へ」ボタンをクリックする
「電子メールアカウント」の画面が表示されます。
- 2** 「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「サーバーの種類」画面が表示されます。
- 3** お使いの環境にあわせてサーバーの種類を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

このあとは、画面の指示にしたがってOutlookのセットアップを行ってください。

再追加後に初めて起動したときの設定

パソコンを再セットアップしたり「Office XP Personal」を削除したりしたあとで、再び「Office XP Personal」を追加し、「Excel」「Word」「Outlook」のいずれかを初めて起動したときには、以下の設定が必要です。

ユーザー情報の登録

Office XP Personalの追加時にプロダクトキーを登録しなかった場合、Excel、Word、Outlookのいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。必要な情報を入力してください。

■ プロダクトキーは「Office XP Personal 添付品」に記載されています。

ライセンス認証ウィザードについて

Excel、Word、Outlookのいずれかを初めて起動したときに、「Microsoft Office XP Personalライセンス認証ウィザード」画面が表示されます。この場合は、「Office XP Personal」に添付のマニュアルをご覧ください。ライセンス認証を行ってください。

Office XP Professional

Office XP Professionalは、次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)
- ・PowerPoint(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・Access(データベース管理ソフト)

■ 添付の「Office XP ステップ バイ ステップ インタラクティブ」を使うと、ワープロや表計算ソフトの操作の解説を見ることができます。

購入後に初めて起動したときの設定

Office XP 使用許諾契約書

Excel、Word、Outlook、PowerPoint、Accessのいずれかを初めて起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」の画面が表示されます。契約に同意のうえ、「同意する」をクリックしてください。

Outlookの設定

Outlookを初めて起動したときには、「Outlook 2002 スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

- 1 「次へ」ボタンをクリックする
「電子メールアドレス」の画面が表示されます。
- 2 「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「サーバーの種類」画面が表示されます。
- 3 お使いの環境にあわせてサーバーの種類を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

このあとは、画面の指示にしたがってOutlookのセットアップを行ってください。

再追加後に初めて起動したときの設定

パソコンを再セットアップしたり「Office XP Professional」を削除したりしたあとで、再び「Office XP Professional」を追加し、「Excel」「Word」「Outlook」「PowerPoint」「Access」のいずれかを初めて起動したときには、以下の設定が必要です。

ユーザー情報の登録

Office XP Professionalの追加時にプロダクトキーを登録しなかった場合、Excel、Word、Outlook、PowerPoint、Accessのいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。必要な情報を入力してください。

■ プロダクトキーは「Office XP Professional 添付品」に記載されています。

ライセンス認証ウィザードについて

Excel、Word、Outlook、PowerPoint、Accessのいずれかを初めて起動したときに、「Microsoft Office XP Professional ライセンス認証ウィザード」画面が表示されます。この場合は、「Office XP Professional」に添付のマニュアルをご覧ください。ライセンス認証を行ってください。

Office 2000 Personalは、次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)

初回起動時の設定

ユーザー情報の登録

Excel、Word、Outlookのいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。

必要な情報を入力してください。

CDキーは「Office 2000 Personal 添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

Excel、Word、Outlookのいずれかを初めて起動すると「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

Outlookの設定

Outlookを初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

チェック! Windows 2000モデルやWindows NTモデルで、購入後はじめてOutlookを起動する場合は、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインし、Outlookを起動する前に、WordまたはExcelを起動してください。

1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2 「企業/ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlookのセットアップを行ってください。

Office 2000 Professionalは、次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)
- ・PowerPoint(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・Access(データベース管理ソフト)
- ・Publisher(DTPソフト)
- ・顧客データマネージャ(顧客情報管理ソフト)
- ・Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

初回起動時の設定

Outlookの設定

Outlookをはじめて起動したときには、次の手順で設定が必要です。



チェック!!

Windows 2000モデルやWindows NTモデルで、購入後はじめてOutlookを起動する場合は、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログオンし、Outlookを起動する前に、WordまたはExcelを起動してください。

- 1** 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。
- 2** 「企業/ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlookのセットアップを行ってください。

ユーザー情報の登録

Excel、Word、PowerPoint、Access、Publisherのいずれかを初めて起動する場合、または「Outlook 2000スタートアップ」の設定後にはじめてOutlookを起動する場合、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。必要な情報を入力してください。

CDキーは「Office 2000 Professional 添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

ユーザ情報の登録後、Excel、Word、Outlook、PowerPoint、Access、Publisherのいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 ProfessionalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

インターネットエクスプローラ

インターネットエクスプローラは、インターネット閲覧用のソフトです。

Windows NTモデルでインターネットエクスプローラを使う場合

- ・本機では、Internet Explorer 4.01 SP2とInternet Explorer 5.01を使うことができます。ご購入時には、Internet Explorer 4.01 SP2がインストールされています。Internet Explorer 5.01を利用するには、PART2の「追加のしかた」の「インターネットエクスプローラ」(p.56)をご覧ください。インストールを行ってください。
- ・インターネットエクスプローラを使用する場合、インターネット接続ウィザードを使用してThe Microsoft Network、または他のインターネットサービスプロバイダのアカウントを登録する必要があります。
- ・インターネットエクスプローラに最新のコンポーネントを追加したいときは、PART2の「追加のしかた」の「インターネットエクスプローラ」(p.56)をご覧ください。

Outlook Express

Outlook Expressは、広く利用されている多機能な電子メールソフトです。アドレス帳機能や署名機能を使い、メールアドレスの管理や、送付メールへの署名追加なども簡単に行えます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。

参照 インターネット設定切替ツールについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」

Virtual CD 2

Virtual CD 2は、パソコンに仮想CD-ROMドライブを追加して、そのドライブで使用できる仮想CDを作成し、利用するためのアプリケーションです。作成した仮想CD-ROMドライブは、Windows上で通常のCD-ROMドライブを扱うような感覚で利用できます。

参照▶ Virtual CD 2の使いかたについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」

Acrobat Reader

PDF形式のファイルを表示したり印刷したりすることができます。

チェック!! Windows 2000モデルの新規作成ユーザの場合、初回起動時に言語選択の画面が表示されます。リストから「日本語」を選択してください。また、「ファイルXXXが見つかりません」という画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

Intellisync

Intellisyncは赤外線通信をするためのソフトウェアです。


設定を行う前に

Intellisyncの設定を行う前に、次の点をご確認ください。


- ・ Intellisyncのインストールや赤外線の接続設定を行う前に、必ず『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」をご覧ください。
- ・ 通信相手のパソコンにIntellisyncがインストールされていない場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、Intellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Intellisync」(p.59)をご覧ください。
- ・ 通信相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に、本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisync ソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。ただし、通信相手のパソコンでのIntellisyncの動作を保証するものではありません。
- ・ Intellisyncのユーザマニュアルをご覧ください。Intellisyncを使用するには、Acrobat Readerが必要です。

Windows NTモデルでIntellisyncで赤外線通信を使う設定を行った後に、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「使用しない(Disabled)」に変更する場合には、以下のようにしてIntellisyncの赤外線接続設定を無効にしてから実施してください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Intellisync」の「接続設定マネージャ」をクリックする

 **チェック!!** 「Intellisync使用許諾同意書」画面が表示された場合は、内容をよく読み「承諾する」ボタンをクリックしてください。

- 2 「はじめに-接続設定マネージャ」画面が表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックする
「接続設定マネージャ」画面が表示されます。

- 3 「ローカルデバイス」タブの「赤外線デバイス」の左の  をクリックする
使用している赤外線デバイスが表示されます。

- 4 デバイス「NEC FIR port model 04」を右クリックし、表示されたメニューから「無効にする」をクリックする

- 5 「OK」ボタンをクリックする

Intellisyncの設定

Intellisyncの設定は、Intellisyncランチャーを使って行います。

Intellisyncランチャーの起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする
「はじめに- Intellisync」の画面が表示されます。

- 2 「OK」ボタンをクリックする
「Intellisyncランチャー」が表示されます。

ファイル転送



パソコン間でファイルやフォルダのコピー、移動を行います。

シンクロナイズ



同期。2つのファイルやフォルダの比較、更新を行います。

サービスセンター



サポート情報、技術資料、オンラインユーザ登録ができます。

接続設定マネージャ



システムや環境の設定を行います。

ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 Intel Isyncランチャーを起動する
- 2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

チェック!! 「Intel Isync使用許諾同意書」画面が表示された場合は、内容をよく読み「承諾する」ボタンをクリックしてください。

- 3 「はじめに - 接続設定マネージャ」画面が表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックする
- 4 「ローカルデバイス」タブで接続に使用するデバイスのアイコンの左側の田を 클릭し、表示されたデバイス名をクリックする
デバイスの詳細については、下記の「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線デバイス」に田が表示されていないときは、下記の「接続設定」の「赤外線 (IR) 接続設定」をご覧ください。赤外線の設定を行ってください。
- 5 「プロパティ」ボタンをクリックする
「ポートのプロパティ」画面が表示されます。
- 6 「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線またはシリアルポートで接続できます。

・赤外線 (IR) 接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート (IRポート) が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

- 3 「接続設定マネージャ」を起動する
- 4 「ローカルデバイス」タブで「赤外線のデバイス」を右クリックする
- 5 「IRウィザード」をクリックする
「現在のデバイス」画面が表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
「デバイスの選択」画面が表示されます。
- 7 一覧から使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする
本機に内蔵の赤外線デバイスを使うときは、リストから「NEC FIR port model 04」を選んでください。
- 8 「IrCommポートの選択」画面が表示された場合は「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「Ir LPTポートの選択」画面が表示された場合は「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「ボーレートの選択」画面が表示された場合は「115200」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

11 「現在のデバイス」画面で設定内容が表示されるので、確認して
「完了」ボタンをクリックする
「IRセットアップウィザード」画面が表示されます。

12 「OK」ボタンをクリックする

13 「セットアップの完了」が表示された場合は「完了」ボタンをクリックする

14 再起動をうながすメッセージが表示された場合は、本機を再起動する

・シリアルケーブル接続設定
使用するパソコン両方に同じ設定をします。

1 COMポート(シリアルポート)に別売のシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。

2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

3 シリアルケーブルの左側の田をクリックする

4 COMポートが表示されるので、「COMポート 1」を選び、「プロパティ」をクリックする

5 「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする






6 「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。


1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの左側の田をクリックする表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

通信相手機器にIntellisyncをインストールするときの設定(Windows 98モデルのみ)

IntellisyncをPC98-NXシリーズのデスクトップタイプのパソコンにインストールし、赤外線インタフェースユニット(PC-9821-U03またはPC-9821-U03R)で赤外線接続する場合は、デスクトップタイプのパソコンにインストールしたIntellisyncで「赤外線の設定」で「NEC Infrared Unit」を選択して設定してください。

-  **チェック!!**
- ・赤外線インタフェースユニット(PC-9821-U03またはPC-9821-U03R)は、Windows NT 4.0では使用できません。
 - ・PC98-NXシリーズのWindows標準赤外線機能では、赤外線インタフェースユニット(PC-9821-U03またはPC-9821-U03R)はサポートしていません。

マニュアルCD-ROM

PDF形式のマニュアル『活用ガイド ハードウェア編』『活用ガイド ソフトウェア編』が格納されています。

「マニュアルCD-ROM」を見るには、Acrobat Readerが必要です。Acrobat Readerを削除しないでください。

VirusScan

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査したり、ウイルスを駆除したりするためのソフトウェアです。

参照 ウイルスのチェックを駆除について PART3の「パソコンをウイルスから守る」

CyberAccess

CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、ドライブやフォルダ、ファイルを隠し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるので、複数のモードを使い分けることができます。

モード


CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

モード	機能
エキスパートモード	CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
アドバンスモード	コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
ベーシックモード	システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
セキュリティモード	CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されます。
新規作成モード	CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セットアップを行うことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行った場合は、このモードを利用することはできません。セットアップについて詳しくは、PART 2の「追加のしかた」の「CyberAccess」(p.61)をご覧ください。

新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。

 **チェック!!** ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
「CyberAccessモード変更」の画面が表示されます。
- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「新規作成」ボタンをクリックする
モード作成ウィザードが起動します。

- 6 新規作成するモード名を入力する
- 7 「モードアクセスをパスワードで確認」にチェックし、パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 モードに設定する制限項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 9 モードに設定する単純化項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 10 ドライブを隠す場合は、隠すドライブのをクリックしてにする
すべてのドライブを隠す場合は「全てのドライブを隠す」をにします。
- 11 ファイル / フォルダを隠す場合は、「追加」ボタンをクリックする
フォルダとファイルのどちらを隠すかというドロップダウンメニューが表示されたら、「フォルダ」か「ファイル」のどちらかを選んでください。
- 12 ドライブ / ファイルを隠す設定が終了したら「次へ」ボタンをクリックする
- 13 アプリケーションの利用制限を行う場合は「下記のプログラムのみ使用可能」にチェックし、「追加」ボタンをクリックして利用させるアプリケーションを設定する

■ アプリケーションの利用制限を行わない場合はこの操作は不要です。

- 14 設定が完了したら「完了」ボタンをクリックする

モードの編集

作成したモードを編集します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
「CyberAccessモード変更」の画面が表示されます。
- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。

- 3 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」ボタンをクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。
- 6 編集内容にしたがって各タブをクリックし、項目を変更する

各設定項目については、「新規モードの作成」の手順6～13（p.36）を参照してください。

- 7 「OK」ボタンをクリックする

モードの切り替え
使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
「CyberAccessモード変更」の画面が表示されます。
- 2 「モード一覧」をクリックする
- 3 をクリックし、切り替えるモードをクリックする
- 4 「OK」ボタンをクリックする
システムがログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、任意のドライブやフォルダ、ファイルを隠す機能や、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

CyberWarner-NXの機能(Windows 98モデルのみ)

Windowsの動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようとするとう警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。

✓チェック!! CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除しようすると、ごみ箱の中身は空なのに、中身があるようにアイコン表示されてしまう場合があります。このような場合は、次の手順で表示を正しく直してください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- 3 「OK」ボタンをクリックする

✓チェック!! CyberWarner-NXの監視対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの削除やフォルダ名の変更は行わないでください。ファイルの監視を行うことができなくなります。

CyberWarner-NXを常駐させる

- 1 「コントロールパネル」を開き「CyberWarner-NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

✓チェック!! 「CyberWarner-NX」を起動時に常駐させるには、「スタートアップ」タブの「起動時にCyberWarner-NXを実行する」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックしてください。

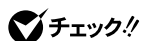
CyberWarner-NXの常駐を終了する

- 1 インジケータ領域(タスクトレイ)に表示されている「CyberWarner-NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする
- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

ログファイルについて

・ CyberWarner -NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner -NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner -NX LogViewerを使います。



チェック!!

採取されたログファイルは、CyberWarner -NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

・ ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルの操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

・ ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

CriticalFile

次のファイルを操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com	¥windows¥system¥iosubsys¥*.pdr
¥io.sys	¥windows¥system¥iosubsys¥*.vxd
¥himem.sys	¥windows¥system¥iosubsys¥*.drv
¥windows¥win.com	¥windows¥rundll.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥prozman.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥control.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.vxd	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥command.com	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥himem.sys	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥system¥sysedit.exe	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥system¥iosubsys¥*.mpd	

Non Critical File

次のファイルを操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥aztpnp.cfg
¥windows¥command¥*.exe
¥windows¥command¥*.com
¥windows¥command¥*.bin
¥windows¥command¥*.ini
¥windows¥command¥*.sys
¥windows¥command¥*.dic
¥windows¥command¥*.lib
¥windows¥command¥*.bat
¥windows¥command¥*.drv
¥windows¥system¥*.dll
¥windows¥system¥*.vxd

Special

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini
¥windows¥system.ini

Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions)

- Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions) は、管理方法として、標準化団体DMTF (Desktop Management Task Force) が規定したDMI (Desktop Management Interface) を採用しています。
- 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

- ・ Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions) は、起動に3分程度かかります。各種機能(「このコンピュータを管理する」、「DMIT00L互換」など)を使用する場合は、OS起動後しばらく待ってからこれらの機能をご使用ください。Intel® LANDesk® Client Manager 6 (with NEC Extensions) を削除する場合も、OS起動後しばらく待ってから行ってください。

Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions) の機能

Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions) は、以下の機能により構成されています。

- ・ Webブラウザによる情報表示
- ・ システムビューアによる情報表示

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプ、ユーザーズガイド、リリースノートおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

NEC拡張機能とは

Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions) に対して、NEC独自に拡張した機能です。

拡張した機能には、次のようなものがあります。

- *1 標準状態でインストールされます。
- *2 標準状態でインストールされません。
- *3 「DMIT00L互換画面」を選択すると、自動的にインストールされます。インストールしたくない場合は、「DMIT00L互換画面」のチェックボックスのチェックを外してください。

インストールする機能を追加 / 削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで「変更」ボタンをクリックしてください。

DMIT00L互換画面 *1

DMIT00L互換のユーザインターフェイス(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

USB接続デバイス一覧 *1 *3

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

モデム一覧 *1 *3

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

プリンター一覧 / プリンタ監視 *1 *3

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

拡張資産管理 *1 *3

Intel® LANDesk® Client Manager (α with NEC Extensions)の資産管理機能に、リース情報 / 棚卸し管理を追加し、リース / 棚卸し管理を可能にします。

H/W変更監視 *2

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

TOOL連携 *2

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツールなどの起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。

連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionsリリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

SMBIOS情報 *2

SMBIOS情報を管理者などの他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

英語モードフォント

- 日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。
- また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「㇀」「㇁」「㇂」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。
- 英語モードフォント、日本語モードフォントでのそれぞれの表示状態は、次の表の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」「㇀」「®」「㇁」 「\」「㇂」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「㇀」「©」「㇁」「®」 「㇂」「\」

Masty Data Backup

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような機能があります。

- ・ OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- ・ 日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジュールリングができます。
- ・ データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・ 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・ 世代管理ができます。
- ・ S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

pcAnywhere 9.2 EX

- ・ 本機に添付されているpcAnywhere 9.2 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- ・ 接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・ 他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMIT00L Ver8.2(pcAnywhere™ 9.2 EXコンプリート版付)」または「pcAnywhere (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMIT00L Ver8.2 (pcAnywhere™ 9.2 EXコンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- ・ pcAnywhere 9.2 EXのビデオモードは「互換性」に設定されています。ビデオモードの設定を変更する場合は、pcAnywhere 9.2 EXを起動し、「ツール」メニューの「アプリケーションのオプション」を選択し、「ホスト操作」タブの「ビデオモードの選択」で設定変更してください。

PGP Personal Privacy

PGP Personal Privacy(以降PGP)は、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

- ・ PGPは、公開鍵暗号方式を使用しています。
- ・ PGPをインストールすると、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」のファイルメニューにコマンドが追加されます。
- ・ 共有パスワードでファイルを暗号化し、共有することができます。
- ・ Eメールアプリケーションと連携し、メールメッセージを暗号化して送信することができます。この場合、メールを受信するパソコンにもPGPがインストールされている必要があります。
- ・ 自己復号アーカイブを使用すると、PGPを持っていないユーザに暗号化ファイルを送信することができます。この場合、共通のパスワードを事前に設定しておく必要があります。

参照 PGPの操作方法について 「スタート」ボタン 「プログラム」 「PGP」 「ドキュメント」 「PGPユーザズガイド」

- チェック!!**
- ・ メール の 件名 は 暗号化されません。件名のみを記載したメールを暗号化して送信しようとする と エラーメッセージが表示されますので、通常のメールとして送信してください。
 - ・ 「暗号化オプション」で「コンベンショナル暗号」または「自己復号アーカイブ」を選択して暗号化した場合、進捗を表示するバーの表示や作成されたファイルのアイコンが正しく表示されない場合がありますが、運用上は問題ありません。
 - ・ Outlook Expressをお使いの場合、「PGPオプション」の画面の「Eメール」タブにある「自動的に復号化/検証の確認」がになっていると、暗号化されたメールを復号化するときに「PGPエラー」が頻繁に発生することがあります。エラーメッセージが表示されたときは、PGPトレイおよびOutlook Expressを再起動するか、本機を再起動してください。
 - ・ 鍵作成時ユーザ名に日本語を使うことはできません。
 - ・ 鍵生成ウィザードで「今すぐデフォルトサーバに鍵を送信する」を選択した場合、公開鍵をインターネット上のサーバに転送しますので、インターネットに接続できる環境が必要です。
 - ・ フォルダ単位での暗号化はできません。フォルダを選択し暗号化を行った場合、フォルダ内のファイルのみが暗号化されます。

- ・ショートカットファイルの暗号化を行うと、ショートカットファイルのリンク先のファイルが暗号化されます。ただし、ショートカットファイルを「PGPツール」の「暗号化」ボタンにドラッグしたまま移動させ暗号化を行った場合は、ショートカットファイルが暗号化されますが、リンク先のファイルは暗号化されません。
- ・暗号化して送信するメールは、テキスト形式で作成してください。HTML形式では正しく送信できないことがあります。また、HTML形式で受信したメールは復号化できないことがあります。
- ・Windows 2000モデル、Windows NTモデルをお使いの場合は、「空き領域の完全削除」を行うと、空き領域の容量によって時間がかかることがあります。

日本ネットワークアソシエイツ社のホームページには、PGPに関する最新情報が掲載されています。下記のアドレスからプリインストールユーザ向けのホームページにアクセスしてください。

<http://www.nai.com/japan/pgp/>

自動メール受信ユーティリティ

メールの受信方法を自動受信に設定すると、パソコンから離れて何か別なことをしている間に自動的にメールを受信することができます。

自動受信の設定を行う

ここでは、おもにOutlook Expressを使用してメールを自動受信するための手順を説明します。その他のメールソフトを使用したい場合は、メールソフトが次の機能に対応しているか確認し、設定をしておいてください。

- ・メールソフト起動時に自動受信できる
- ・接続設定が行える
- ・受信後に回線切断できる




チェック!!

- ・Outlook Expressでメールの自動受信を行うには、あらかじめOutlook Expressでメールの送受信が行えるように設定しておく必要があります。この時「ユーザーの管理」機能を使用するとメールの自動受信は行えません。
- ・Outlook Expressの場合、初回および2回目起動時と、はじめてメールを送受信したときにキー入力が必要とするため、自動受信がうまく行えない場合があります。必ず2回以上、送受信テストを行ってから利用してください。
- ・自動受信を行うには、Outlook Expressで自動切断の設定が必要です。また、自動切断の設定直後には必ずWindowsの再起動を行ってください。

- ・自動メール受信ユーティリティをお使いになる場合には、ご使用になるプロバイダのメールサーバがPOP3プロトコルに対応している必要があります。




メール着信ランプについて

自動受信の設定をしていると、「メール着信ランプ」()を見るだけで、自分宛のメールが届いているかどうかを確認することができます。この機能を利用すると、メール着信の確認のためだけにインターネットに接続する必要がなくなります。

メールが届いていると、メール着信ランプが緑色に点灯します。

自動メール受信ユーティリティの設定をする

自動メール受信ユーティリティを始める

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「自動メール受信ユーティリティ」 「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の  をクリックする
 が緑色になり、メッセージの画面が表示されます。
すでに  が緑色になっている場合は、設定ができる状態です。
- 3 「OK」ボタンをクリックして、メッセージの画面を閉じる
これで、自動メール受信ユーティリティの設定を始めることができます。
次の手順で、メールパスワードを設定してください。

メールパスワードを設定する

- 1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「受信設定」ボタンをクリックする
「受信設定」の画面が表示されます。
- 2 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「メールパスワード」を入力する





チェック!!

- ・ここで入力するパスワードは、メールサーバに接続するときに使うパスワードです。
- ・パスワードの入力では、入力した文字がすべて「*」で表示されるので、画面上では確認できませんが、必ず半角で、大文字と小文字を区別して入力してください。

3 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順2と同じメールアドレスを入力する

4 「OK」ボタンをクリックする
これでメールアドレスの設定ができました。
続けて、自動受信する日時を設定してください。


自動受信する日時を設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「毎日」「平日」「カスタム」のいずれかの  をクリックする
 が緑色に変わります。

2 「設定時間1」で受信したい時刻を選ぶ



3 「OK」ボタンをクリックする


- ・ Windows Meモデル、Windows 98モデルの場合
「設定が変更されています。保存して終了しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。
これで自動受信の設定は終了です。
- ・ Windows 2000モデルの場合
「パスワード入力」の画面が表示されます。
「パスワード入力」と「入力確認用」のそれぞれの入力欄に「Windows 2000のログオンパスワード」を入力してから「はい」ボタンをクリックしてください。
これで自動受信の設定は終了です。

-  **チェック!!** ・ インターネット接続用のパスワードが保存されていないと、メールの自動受信は行えません。
- ・ パスワードには、大文字 / 小文字 / 全角 / 半角の区別がありますので、間違えないように入力してください。


Microsoft Outlookで自動受信を行う(Windows Meモデル、Windows 98モデルのみ)

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「自動メール受信ユーティリティ」 「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。

2 「メールの自動受信を行う」の左のをクリックする
が緑色になり、メッセージの画面が表示されます。

すでにが緑色になっている場合は、設定ができる状態になっているので、上記の操作は不要です。

3 「OK」ボタンをクリックしてメッセージの画面を閉じる

4 「受信設定」ボタンをクリックし、「受信ソフト」の「メールソフトにOutlook Express以外を用いる」の左のをクリックする

5 「参照」ボタンをクリックし、以下のパスを指定する

- ・ Office 2000モデルの場合
C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office¥Outlook.exe
- ・ Office XPモデルの場合
C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office10¥Outlook.exe

メールを自動受信する前に

メールを自動受信するときには、設定した時刻に本機の電源が入っている状態にしておく必要があります。しばらくパソコンから離れている間に受信する場合などは、本機をスタンバイ状態(サスペンド)にしておくことをおすすめします。

また、Outlook Expressなど自動受信するためのメールソフトが起動している状態では自動受信は行われませんので、終了しておいてください。

参照▶ スタンバイ状態(サスペンド)にする 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

メールを自動受信する



メールを自動受信している間は、画面が自動的に表示されて、次々に画面が切り替わります。すべて自動的に行われるので、操作の必要はありません。

「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された場合PART4の「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された(p.166)をご覧ください。

メールが受信されたら


Outlook Expressを自動受信するメールソフトに設定している場合は、メールを受信するとメール着信ランプが点灯します。また、Outlook Express以外のメールソフトをご利用の場合には、「新しいメールが到着しています。」というメッセージが表示されます。受信したメールは、メールソフトを起動して読みます。

メールの自動受信の設定を解除するには

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「自動メール受信ユーティリティ」 「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の  (緑色) をクリックする
 が灰色に変わります。
- 3 「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「設定が変更されています。保存して終了しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。
これで自動受信の設定が解除されました。
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「パスワード入力」の画面が表示されます。
「パスワード入力」と「入力確認用」のそれぞれの入力欄に「Windows 2000のログオンパスワード」を入力してから「はい」ボタンをクリックしてください。
これで自動受信の設定が解除されました。

ワンタッチスタートボタンの設定

ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけでアプリケーションを起動することができます。

-  **チェック!!** アプリケーションを起動するには、あらかじめ設定が必要です。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

P A R T

2

添付アプリケーションの 追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。



追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合
- ・標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合

追加するときの注意

- ・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵または添付されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブなどが必要です。
- ・ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
- ・「C:¥Program Files」の直下や「C:¥Windows」「C:¥WINNT」など、システムが使用しているフォルダには、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・Windows NTモデルの場合、アプリケーションによっては、インストール後の再起動時にDLL初期化のエラーメッセージが表示されることがありますが、動作上は問題ありません。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用してアプリケーションを追加する場合は、次の手順を行ってください。

なお、一部の添付アプリケーションでは次の手順は必要ありません。

- 1 CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

3 以下の手順を行う

- ・ Windows 2000モデルの場合
「プログラムの追加」ボタンをクリックし、「CDまたはフロッピー」ボタンをクリックする
- ・ 上記以外のモデルの場合
「インストールと削除」タブの「インストール」ボタンをクリックする

4 「次へ」ボタンをクリックする

5 ボックス内に以下のように入力する

- ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
CD-ROMドライブ名 : ¥NSETUP.EXE
- ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
CD-ROMドライブ名 : ¥NXSETUP.EXE

6 「完了」ボタンをクリックする

追加の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

ここから先は、アプリケーションによって手順が異なります。P.54からの「追加のしかた」の各アプリケーションでの操作手順をご覧ください。



追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office XP Personal

Office XP Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)

Office XP Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office XP Personalの再セットアップ(Office XP Personalモデルのみ)」をご覧ください。

- ・Bookshelf Basicの追加は、「Office XP Personal」に添付の「Microsoft® Bookshelf Basic 3.0」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、Office XPの「セットアップガイド」をご覧ください。
- ・Office XP ステップ バイ ステップ インタラクティブの追加は、「Office XP Personal」に添付の「Microsoft® Office XP Personal Step By Step Interactive」CD-ROMを使ってください。詳しくは、Office XPの「セットアップガイド」をご覧ください。

Office XP Professional

Office XP Professionalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)
- ・PowerPoint(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・Access(データベース管理ソフト)

Office XP Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office XP Professionalの再セットアップ(Office XP Professionalモデルのみ)」をご覧ください。

Office 2000 Personal

Office 2000 Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Personalの再セットアップ(Office 2000 Personalモデルのみ)」をご覧ください。

また、Bookshelf Basicの追加は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、Office 2000の「セットアップガイド」をご覧ください。

Office 2000 Professional

Office 2000 Professionalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel(表計算ソフト)
- ・Word(ワープロソフト)
- ・Outlook(メール/スケジュール管理ソフト)
- ・PowerPoint(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・Access(データベース管理ソフト)
- ・Publisher(DTPソフト)
- ・顧客データマネージャ(顧客情報管理ソフト)
- ・Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

Office 2000 Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Professionalの再セットアップ(Office 2000 Professionalモデルのみ)」をご覧ください。

インターネットエクスプローラ

Windows NTモデルにはInternet Explorer 4.01 SP2があらかじめインストールされていますが、Internet Explorer 5.01を利用することもできます。Internet Explorer 5.01を利用するには、セットアップが必要です。

Internet Explorer 5.01のセットアップ

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「バックアップCD-ROM#3」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「インストールと削除」タブで「インストール」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されます。
- 4** 「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「インストールプログラムのコマンドライン」に「<CD-ROM ドライブ名> : ¥ie5¥ie5setup.exe」と入力する
- 6** 「完了」ボタンをクリックする
「追加使用許諾契約書」が表示されます
- 7** 契約に同意のうえ「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 8** セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
終了すると「コンピュータの再起動」画面が表示されます。

- 9** 「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Internet Explorer 4.01 SP2に最新のコンポーネントを追加する

Internet Explorer 4.01 SP2に最新のコンポーネントを追加するには、次の手順でインストールします。いずれも同じWebサイトに接続して、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- ・ Internet Explorer 4.01 SP2の「ヘルプ」 「製品更新」をクリックする
- ・ 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で追加する

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 2** 一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」を選び、「OK」ボタンをクリックする

インターネット設定切替ツール

- 1** 「追加の準備」(p.52)を行う
- 2** 一覧から「インターネット設定切替ツール」を選択する
- 3** 以下の手順を行う
 - ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする

「ようこそ」画面が表示されます。
- 4** 「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」画面が表示されます。

- 5 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
終了すると「セットアップの完了」画面が表示されます。
- 6 Readmeファイルを読む場合はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを読む。」のチェックを外してから「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Virtual CD 2

- 1 「追加の準備 (p.52)を行う
- 2 一覧から「Virtual CD 2」を選び、「OK」ボタンをクリックする
「Virtual CD」画面が表示されます。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の設定」画面が表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
終了すると「セットアップは正常に完了しました。」と表示されます。
- 5 「再起動する」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Acrobat Reader


- 1 「追加の準備 (p.52)を行う
- 2 一覧から「Acrobat Reader」を選択する
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする
「Acrobat Reader 4.05のセットアップ」画面が表示されます。

- 4 「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」の画面が表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 6 「情報」画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの完了」画面が表示された場合は「はい」、直ちにコンピュータを再起動します。「」が選択されていることを確認して「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Intellisync

Intellisyncを追加する前に、『活用ガイドハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」の手順を行ってください。また、追加の前に、PART1の「Intellisync」(p.28)を必ずお読みください。

- 1 「追加の準備」(p.52)を行う
- 2 一覧から「Intellisync」を選択する
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする「ようこそ」画面が表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
「製品ライセンス契約」画面が表示されます。
- 5 契約に同意のうえ「はい」ボタンをクリックする
「ユーザの情報」画面が表示されます。
- 6 「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」画面が表示されます。

 **チェック!!** シリアル番号は変更しないでください。

7 「次へ」ボタンをクリックする
「セットアップ方法」画面が表示されます。

8 「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。


9 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
終了すると、「質問」画面が表示されます。

10 「いいえ」ボタンをクリックする
「セットアップの完了」画面が表示されます。

11 「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します。」のチェックを外して「完了」ボタンをクリックする

- ・赤外線通信を行う場合はPART1の「赤外線(IR)接続設定」(p.31)をご覧ください。
- ・シリアルケーブルによる通信を行う場合はPART1の「シリアルケーブル接続設定」(p.32)をご覧ください。

VirusScan

 **チェック!!** Windows 2000 / Windows NTの場合、VirusScanの追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。

1 「追加の準備」(p.52)を行う

2 一覧から「VirusScan」を選択する

3 以下の手順を行う

- ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする
- 「製品情報」と表示されます。

- 4 「次へ」ボタンをクリックする
「ソフトウェアの使用許諾契約書」と表示されます。
- 5 契約に同意のうえ、「ライセンス契約に同意します。」を選択し、
「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「セキュリティレベルを選択してください」と表示された場合は「標準のセキュリティレベル」が選択されていることを確認し、「次へ」
ボタンをクリックする
- 7 「カスタムインストール」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「カスタムインストール」と表示されます。
- 8 インストールする機能を設定し、「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムのインストール準備完了」と表示されます。
- 9 「インストール」をクリックする
インストールが始まります。
終了すると、「McAfee VirusScan インストールウィザードを完了しました。」と表示されます。
- 10 「設定」ボタンをクリックする
これ以降は、画面の指示にしたがってお使いの環境にあわせて設定
してください。

参照 インストールについて詳しくは 「アプリケーションCD-ROM」の
¥Virus¥Readme.TXT

CyberAccess

- 1 「追加の準備 (p.52)を行う
- 2 リストから「CyberAccess」を選択する

3 以下の手順を行う

- ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする
- 「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックする 「インストール先ディレクトリを選択」画面が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする 「CyberAccess」画面が表示されます。

6 セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする 「標準」または「カスタム」のどちらかを選択してください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標準」に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード (上記のほかに、アドバンスモード、ベーシックモードを追加選択可能)

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
カスタム	任意のモードを設定可能

下記の手順7で選択したモードの中から選択できます。

・エキスパートパスワードの設定

エキスパートモード(CyberAccessを設定可能な管理者モード)のパスワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
カスタム	任意の文字列に変更可能 (初期値はmanager)

以降、手順7～10は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準」を選択すると、自動的に設定が行われますので、手順11(Windows 98モデルの場合は手順10のメモ)に進んでください。

7 インストール時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする

8 「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

9 「エキスパートパスワードの設定」を設定して「次へ」ボタンをクリックする

10 「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

Windows 98モデルでは、ここで「CyberWarner」画面が表示されます。CyberWarner-NXをインストールする場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。

CyberWarner-NXをインストールしない場合は「CyberWarnerをインストール」のチェックを外してから「次へ」ボタンをクリックしてください。CyberWarner-NXを単体でインストールすることはできません。

「セットアップ開始」画面が表示されます。

11 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

終了すると、「CyberAccess のセットアップに成功しました。」と表示されます。

12 「完了」ボタンをクリックする
CyberAccessのセットアップはこれで終了です。

Windows 98モデルで「CyberWarner-NX」をインストールする場合は、続けて以下の操作を行ってください。


13 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」と表示されます。

14 「次へ」ボタンをクリックする

15 「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。

16 「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Intel® LANDesk® Client Manager α (with NEC Extensions)

-  **チェック!!** ・Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合、Intel® LANDesk® Client Manager α (with NEC Extensions) の追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。
- ・Intel® LANDesk® Client Manager α (with NEC Extensions) を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。
 - ・Intel® LANDesk® Client Manager α (with NEC Extensions) をインストールする前にTCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。TCP/IPの設定を行わずにIntel® LANDesk® Client Manager α (with NEC Extensions) をインストールした場合、本機起動時にエラーメッセージが表示される場合がありますが、問題はありません。TCP/IPをインストールすることにより、正常に動作するようになります。

- ・ Intel® LANDesk® Client Manager α with NEC Extensions をインストールするには、システムリソース / Userリソースが多く必要です。インストールする前に「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」の「リソースメーター」で50%以上のシステムリソース / Userリソースが残っていることを確認してください。
- また、インストール時に選択するコンポーネントにより、より多くのシステムリソース / Userリソースが必要になりますので、複数のアプリケーションを同時に動作させたり、インジケータ領域(タスクトレイ)に登録されているものなど、多くのシステムリソース / Userリソースを使用するアプリケーションと一緒にご使用になるときは、不要なコンポーネントを省いてインストールすることをお勧めします。

1 他のアプリケーションをすべて終了させる

2 「追加の準備」(p.52)を行う

3 一覧から「Intel(R) LANDesk(R) Client Manager 6 (NEC Extension)」を選択する

4 以下の手順を行う

- ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
- ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする

チェック!! ダイアルアップの接続の画面が表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

「ようこそ」画面が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする
「製品ライセンス契約」画面が表示されます。

6 契約に同意のうえ「はい」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」画面が表示されます。

7 「次へ」ボタンをクリックする
「コンポーネントの選択」画面が表示されます。

- 8 インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
- 9 「次へ」ボタンをクリックする
「ユーザの追加」画面が表示されます。
- 10 「ユーザ名」と「パスワード」を入力して「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
終了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。
- 11 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

英語モードフォント

英語モードフォントに切り替えるには、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って「英語モードフォント」をインストールする必要があります。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」メニューから「新しいフォントのインストール」を選ぶ
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」画面の「ドライブ」欄に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブを指定する
- 5 「フォルダ」欄で「usfont」フォルダをダブルクリックする
- 6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」ボタンをクリックする

- 1 「追加の準備 (p.52)を行う
- 2 一覧から「Masty Data Backup/F」を選択する
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
 - ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする

「ようこそ」画面が表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」画面が表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

ほかのアプリケーションが起動している場合、インストールの途中でそれらのアプリケーションのウィンドウが前面に表示されることがあります。このような場合は、それらのウィンドウを最小化すると「セットアップ完了」画面が表示されます。

- 6 Readmeファイルを読む場合は、「Readmeファイルを読みます。」にチェックをつけてから「完了」ボタンを、読まない場合はそのまま「完了」ボタンをクリックする

- 1 「追加の準備 (p.52)を行う
- 2 一覧から「pcAnywhere 9.2 EX」を選択する

3 以下の手順を行う

- ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
- ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする

「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードへようこそ」と表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックする 「使用許諾契約」が表示されます。

5 契約に同意のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して「次へ」ボタンをクリックする 「ユーザ情報」が表示されます。

6 ユーザ名と所属を入力して「次へ」ボタンをクリックする 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されます。

7 「インストール」ボタンをクリックする ファイルのコピーが始まります。 終了すると、「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードを完了しています」と表示されます。

8 「完了」ボタンをクリックする 「pcAnywhere 9.2 EXのインストール情報」のメッセージが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

PGP Personal Privacy

1 「追加の準備」(p.52)を行う

2 一覧から「PGP」を選び、決定する

3 以下の手順を行う

- ・ Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合
「OK」ボタンをクリックする
- ・ Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合
「インストール」ボタンをクリックする

「ようこそ」の画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックする 「製品ライセンス契約」画面が表示されます。

5 契約に同意のうえ、「はい」ボタンをクリックする 「重要な情報」画面が表示されます。

6 画面の内容をよく読み、「次へ」ボタンをクリックする 「ユーザの情報」画面が表示されます。

7 名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする 「インストール先の選択」画面が表示されます。

8 「次へ」ボタンをクリックする 「コンポーネントの選択」画面が表示されます。

9 インストールするコンポーネントを選択し「次へ」ボタンをクリックする 「ファイルをコピーする準備ができました」画面が表示されます。

10 「次へ」ボタンをクリックする インストールが始まります。 しばらくすると、「鍵リング」の画面が表示されます。

11 「いいえ」ボタンをクリックする はじめてPGPをインストールする場合や「鍵リング」が無い場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。 作成済みの「鍵リング」を使用する場合は「はい」ボタンをクリックし、「鍵リング」が保存されている場所を指定してください。

「セットアップの完了」画面が表示されます。

- 12** 「PGP鍵の起動」項目が表示されている場合はチェックをはずして「完了」ボタンをクリックし、本機を再起動する
「はい、ただちにコンピュータを再起動します」と表示されている場合は、チェックがついていることを確認して「完了」ボタンをクリックします。
自動的に本機が再起動します。

削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
- ・インターネットエクスプローラを削除することはできません。
- ・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵または添付されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブなどが必要です。
- ・ここではCD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
- ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。
- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、「スタート」メニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで決定した後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。

削除の準備

コントロールパネルを使ってアプリケーションを削除する場合は、次の手順を行ってください。

CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

なお、一部のアプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

2 以下の手順を行う

- ・ Windows 2000モデルの場合
「プログラムの変更と削除」ボタンをクリックする
- ・ 上記以外のモデルの場合
「インストールと削除」タブを選択する

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、まず、エクスプローラですべてのファイルやフォルダが表示されるように設定し、その後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除してください。

削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。


Office XP Personal

Office XP Personalの削除


- 1 「削除の準備」(p.72)を行う
- 2 一覧から「Microsoft Office XP Personal」をクリックする
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「変更と削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする


「メンテナンスモードオプション」と表示されます。
- 4 「Officeの削除」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
削除を確認するメッセージが表示されます。
- 5 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「以下のプログラムが実行中です。」と表示された場合は、一覧に表示されているアプリケーションを終了させ、「無視」ボタンをクリックしてください。
- 6 「Microsoft Office XPはお使いのコンピュータから削除されました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、CD-ROMを取り出してから「はい」ボタンをクリックする
Windowsが再起動します。

アイコンの削除

Office XP Personalを削除した後、[クイック起動]ツールバー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。

アイコンは、次の手順で削除することができます。

- 1 [クイック起動]ツールバーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Bookshelf Basicの削除は、「Office XP Personal」に添付の「Microsoft Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、Office XPの「セットアップガイド」をご覧ください。


Office XP Professional


Office XP Professionalの削除


- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「Microsoft Office XP Professional」をクリックする
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「変更と削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする「メンテナンスモードオプション」と表示されます。
- 4 「Officeの削除」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
削除を確認するメッセージが表示されます。

- 5 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「以下のプログラムが実行中です。」と表示された場合は、一覧に表示されているアプリケーションを終了させ、「無視」ボタンをクリックしてください。
- 6 「Microsoft Office XPlはお使いのコンピュータから削除されました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、CD-ROMを取り出してから「はい」ボタンをクリックする
Windowsが再起動します。

アイコンの削除

Office XP Professionalを削除した後、[クイック起動]ツールバー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。
アイコンは、次の手順で削除することができます。


- 1 [クイック起動]ツールバーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Bookshelf Basicの削除は、「Office XP Professional」に添付の「Microsoft Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、Office XPの「セットアップガイド」をご覧ください。

Office 2000 Personalの削除

Windows Meモデル / Windows 98モデル / Windows NTモデルの場合

✓チェック! Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合、MS-IME2000を削除することはできません。

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
- 3  「Officeの削除」をクリックする
「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5 「Microsoft Office 2000 SR-1 Personalのセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「インストーラ情報」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
表示されない場合は、本機を再起動してください。

Windows 2000モデルの場合

✓チェック! MS-IME2000を削除することはできません。

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal」をクリックして「削除」ボタンをクリックする
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

- ✓チェック!!** 「変更」ボタンをクリックすると、「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
ここで、個別にアプリケーションを削除することもできます。

3 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

4 本機を再起動する

MS-IME2000 の削除(Windows NTモデルのみ)

- ✓チェック!!** MS-IME2000以外の日本語入力システムが使える状態になっていない場合には、MS-IME2000は削除できません。

1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする

2 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする

3 「言語の追加」画面から他の言語を選択して「OK」ボタンをクリックする
「言語のプロパティ」画面が表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする
「キーボードのプロパティ」の画面が表示されます。

5 「Microsoft IME 2000」を選択し、「削除」ボタンをクリックする


6 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックする


- ✓チェック!!** メッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックし「OK」ボタンをクリックしてください。


7 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
「Microsoft Office 2000 へようこそ」画面が表示されたら、画面を閉じてください。

- 8 「削除の準備」(p.72)を行う
- 9 一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 セットアップ」画面が表示されます。
- 10 「すべて削除」ボタンをクリックする
「本当にすべて削除しますか?」と表示されます。
- 11 「削除する」ボタンをクリックする
「セットアップが完了しました」と表示されます。
- 12 「OK」ボタンをクリックする
- 13 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除した後、[クイック起動]ツールバー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。アイコンは、次の手順で削除することができます。

- 1 [クイック起動]ツールバーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする


 **チェック!!** Bookshelf Basicの削除は「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、Office 2000の「セットアップガイド」をご覧ください。

Windows Meモデル / Windows 98モデル / Windows NTの場合

✓チェック!! Windows Meモデル / Windows 98モデルの場合、MS-IME2000を削除することはできません。

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
- 3 「機能の追加/削除」ボタンをクリックする


✓チェック!! Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし、「インストールしない」をクリックする
- 5 「完了」ボタンをクリックする
- 6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional のセットアップが正常に終了しました」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「インストーラ情報」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
表示されない場合は、本機を再起動してください。

Windows 2000モデルの場合

 **チェック!!** MS-IME2000を削除することはできません。

- 1 「削除の準備」(p.72)を行う
- 2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional」をクリックして「削除」ボタンをクリックする
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。


 **チェック!!** 「変更」ボタンをクリックすると、「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
ここで、個別にアプリケーションを削除することもできます。


- 3 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 本機を再起動する

Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Plannerの削除

Windows Meモデル / Windows 98モデル / Windows NTモデルの場合

- 1 「削除の準備」(p.72)を行う
- 2 一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
- 3 「機能の追加/削除」ボタンをクリックする


 **チェック!!** Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし、「インストールしない」をクリックする

- 5 「完了」ボタンをクリックする
- 6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2のセットアップが正常に終了しました」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する


Windows 2000モデルの場合

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2」をクリックし、「削除」ボタンをクリックする
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

 **チェック!!** 「変更」ボタンをクリックすると、「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
ここで、個別にアプリケーションを削除することもできます。


- 3 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 本機を再起動する

MS-IME2000の削除(Windows NTモデルのみ)

 **チェック!!** MS-IME2000以外の日本語入力システムが使える状態になっていない場合には、MS-IME2000は削除できません。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
- 2 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3 「言語の追加」画面から他の言語を選択して「OK」ボタンをクリックする


- 4 「言語のプロパティ」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
「キーボードのプロパティ」の画面が表示されます。
- 5 「Microsoft IME 2000」を選択し、「削除」ボタンをクリックする
- 6 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする
「Microsoft Office 2000へようこそ」画面が表示されたら、画面を閉じてください。
- 8 「削除の準備」(p.72)を行う
- 9 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 セットアップ」画面が表示されます。
- 10 「すべて削除」ボタンをクリックする
「本当にすべて削除しますか?」と表示されます。
- 11 「削除する」ボタンをクリックする
「セットアップが完了しました」と表示されます。
- 12 「OK」ボタンをクリックする
- 13 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックする
自動的に再起動します。

アイコンの削除

Office 2000 Professionalを削除したあと[クイック起動]ツールバー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。アイコンは次の手順で削除することができます。

- 1 [クイック起動]ツールバーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする

インターネット設定切替ツール

- 1 インジケータ領域(タスクトレイ)に「インターネット設定切替ツール」アイコンがある場合は右クリックし、「インターネット設定切替ツールの終了」をクリックする
「ダイヤルアップネットワークが作成されていません・・・」と表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。
- 2 「削除の準備」(p.72)を行う
- 3 一覧から「インターネット設定切替ツール」を選択する
- 4 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「変更 / 削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする

「 'インターネット設定切替ツール' とそのすべてのコンポーネントを削除しますか? 」と表示されます。

- 5 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました...」と表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

Virtual CD 2

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「Virtual CD」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
「Virtual CDのアンインストール」画面が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする
「Virtual CDをシステム上からアンインストールしてもよろしいですか?」と表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

「スタートアップ」画面が表示された場合は、画面を閉じるか最小化すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

終了すると、「Virtual CDを完全にアンインストールしました。アンインストールを完了するには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐに再起動しますか?」と表示されます。
- 5 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

- 1 「削除の準備」(p.72)を行う
- 2 リストから「Adobe Acrobat 4.0」を選択する
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする


「'Adobe Acrobat 4.0」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると、「コンピュータからプログラムを削除」画面が表示されます。
- 5 「OK」ボタンをクリックする

- 1 「削除の準備」(p.72)を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする
「'Intellisync」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されます。

- 3** 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」
をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました...」と表示されます。

- 4** 「OK」ボタンをクリックする


VirusScan

 **チェック!!** Windows 2000モデル / Windows NTモデルの場合、VirusScanの削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- 1** 「削除の準備」(p.72)を行う
- 2** 一覧から「McAfee VirusScan」をクリックする
- 3** 以下の手順を行う
- ・ Windows 2000モデルの場合
「削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする
- 「McAfee VirusScan メンテナンス ウィザードへようこそ」と表示されます。
- 4** 「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムのメンテナンス」が表示されます。
- 5** 「削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムの削除」と表示されます。
- 6** 「削除」ボタンをクリックする
削除が始まります。
終了すると、「McAfee VirusScan インストール ウィザードを完了しま
す。」と表示されます。
- 7** 「完了」ボタンをクリックする

- 8** 再起動をうながすメッセージが表示された場合は「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

メッセージが表示されなかった場合は「スタート」ボタン 「Windowsの終了」から本機を再起動してください。

 **チェック!** VirusScanの削除後は、必ず本機を再起動してください。

CyberAccess

Windows 98モデルでCyberWarner-NXのみを削除する場合は、「CyberWarner-NXの削除」(p.88)をご覧ください。


- 1** 「エキスパートモード」以外のモードでお使いの場合は、「エキスパートモード」にする
- 2** 「削除の準備」(p.72)を行う
- 3** 一覧から「CyberAccess」を選択する
- 4** 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「変更 / 削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする

「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されます。
- 5** 「はい」ボタンをクリックする

Windows 98モデルの場合は、ひきつづき以下の操作でCyberWarner-NXを削除してください。

- 1 インジケータ領域(タスクトレイ)に「CyberWarner-NX」アイコンがある場合はアイコンをクリックし、「終了」をクリックする
「CyberWarner-NXのシャットダウン」が表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。
- 2 「削除の準備」(p.72)を行う
- 3 一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックする
再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 5 「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions)

 **チェック!** Windows 2000モデル / Windows NTモデルでIntel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions)を削除する場合は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- 1 他のアプリケーションをすべて終了させる
- 2 「削除の準備」(p.72)を行う
- 3 リストから「Intel LANDesk Client Manager (with NEC Extensions)」を選択する
- 4 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「変更 / 削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする

「Intel LANDesk Client Manager (with NEC Extensions)」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されます。

- 5** 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

チェック! 「Intel LANDesk Client Manager (with NEC Extensions)」はシステムから削除されました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。本機が再起動します。

- 6** 「LDCMのアンインストール」画面が表示された場合は「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

英語モードフォント

日本語モードフォントに切り替えるには、「英語モードフォント」を削除する必要があります。

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」、「EnglishModeSystem(Set#6)」、「EnglishModeTerminal(Set#6)」を選び「ファイル」メニューの「削除」を選ぶ

「EnglishModeFixedSys(Set#6)」、「EnglishModeSystem(Set#6)」、「EnglishModeTerminal(Set#6)」は短く表示されることもあります。

「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されます。

- 3** 「はい」ボタンをクリックする

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「Masty Data Backup/F」を選択する

3 以下の手順を行う

- ・ Windows 2000モデルの場合
「変更 / 削除」ボタンをクリックする
- ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする

「Masty Data Backup/F」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されます。

- 4 「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

終了すると、「アンインストールが完了しました...」と表示されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックする

- 6 本機を再起動する



チェック!!

- ・ アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windowsの登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・ 再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「pcAnywhere 9.2 EX」を選択する
- 3 以下の手順を行う

- ・ Windows 2000モデルの場合
「削除」ボタンをクリックする
- ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする


アンインストールの確認メッセージが表示されます。

- 4 「はい」ボタンをクリックする

pcAnywhere 9.2 EXの削除画面が表示されます。画面が消えたら、pcAnywhere 9.2 EXの削除は終了です。

「選択した機能はCD-ROM、または現在使用できない他のリムーバブルディスクにあります。」と表示された場合は、CD-ROMドライブに添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。

「pcAnywhere 9.2 EXに行った設定変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

 **チェック!!** 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でpcAnywhere 9.2 EXを削除中、「インストールプログラムは完了前に中断されました。」と表示される場合があります。その際には、「OK」ボタンをクリックすると「スレッドが終了したか、またはアプリケーションの要求によって、I/O処理が中止されました」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。「アプリケーションの追加と削除」の画面に戻りますので再度、削除を行ってください。削除中に「エラー1705」のメッセージが表示されますが「はい」ボタンをクリックすると、削除は正常に続行します。

- 1 「削除の準備 (p.72)を行う
- 2 一覧から「PGP Personal Privacy 6.5.8J」を選択する
- 3 以下の手順を行う
 - ・ Windows 2000モデルの場合
「変更 / 削除」ボタンをクリックする
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「追加と削除」ボタンをクリックする

「アンインストールの確認」画面が表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックする
「アンインストール完了」画面が表示されます。
- 5 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」にチェックがついていることを確認し、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

P A R T

3

パソコンのメンテナンスと管理

パソコンのメンテナンスのしかたやトラブルからパソコンを守るための方法などを説明しています。



パソコンをウイルスから守る

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない
- ・インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
- ・入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ウイルスチェックを定期的に行う

また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先：情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部 〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室
電話 03-5978-7509
FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

ウイルスの感染を検査するには

「VirusScan」を使ったウイルス検査には、次のような方法があります。

- ・VirusScan
ファイルがウイルスに感染していないかをその場ですぐに検査する方法です。
外部からファイルを受け取ったときなどには「VirusScan」を実行し、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認することをおすすめします。
- ・Vshield
ファイルのアクセス、コピー、実行時などにウイルス検査をする方法です。
Windowsの起動時にVshieldが常駐するように設定しておけば、Windowsで操作するファイルがウイルスに感染されていないかどうかを、常にリアルタイムで監視することができます。
- ・VirusScanスケジューラ
あらかじめ設定した日時に自動的にウイルス検査をする方法です。
- ・ScreenScan
スクリーンセーバーの実行中にウイルス検査をする方法です。

上記の他にも、「E-mailスキャン」「ダウンロードスキャン」「インターネットフィルター」など、ウイルスの感染を防ぐための設定をすることができます。詳しい操作方法については、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。



チェック!!

- ・本機に添付の「VirusScan」では、エマージェンシーディスクを作成することはできません。
- ・フロッピーディスクドライブが外付けのモデルでフロッピーディスクドライブを接続していない場合は、「システムスキャンプロパティ」の「スキャン」タブをクリックし、「フロッピーのスキャン」の「シャットダウン」を にしてください。フロッピーディスクドライブを接続せずにフロッピーディスクのスキャンを行うと、シャットダウンに時間がかかったり、正常にシャットダウンできない場合があります。
- ・Vshieldが常駐している状態では、アプリケーションの動作が多少遅くなります。

ウイルスを駆除するには

ウイルスが発見された場合には「駆除」ボタンをクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しくはVirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

新種のウイルスに備えるには

本機に添付の「VirusScan」では、新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、定期的にウイルス定義ファイル（DAT）とウイルス検出エンジンを更新する必要があります。

なお、ウイルス検出エンジンの更新にはユーザ登録が必要です。詳しくは、「スタート」ボタン「プログラム」「Network Associates」「McAfee VirusScan ユーザー登録について」をご覧ください。

- ・インターネットに接続できる環境（プロバイダに入会済みの場合）の場合には、「VirusScanコンソール」で「DATの自動アップデート」を右クリックして「開始」ボタンをクリックすると、最新版のDATファイルをダウンロードできます。また、ウイルス定義ファイルやスキャンエンジンの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。そのような場合には、最新のVirusScanをご購入のうえ、バージョンアップすることをおすすめします。

ハードディスクのメンテナンス

バックアップ

操作ミスやハードディスクの故障など、万一の事態に備えてデータの複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。

大切なデータを保護するには、定期的なバックアップが有効です。

Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」以外へのバックアップをおすすめします。

Windowsのシステムや添付のアプリケーションなどについては、再セットアップすると購入時の状態に戻すことができます。

システムの復元 (Windows Meのみ)

本機の動作が不安定になるなど、システムにトラブルが起きたしまった場合には、「システムの復元」を実行すると元の安定した状態に戻すことができます。

詳しくは、Windows Meの「ヘルプとサポート」の「問題を解決する」の「システムの復元を利用する」をご覧ください。

- ✓チェック!!**
- ・システムの復元を行うときは、あらかじめ起動中のアプリケーションを終了させておいてください。
 - ・お客様が作成したファイル(データファイル)を復元することはできません。

その他のメンテナンス

ハードディスク内のデータの障害をチェックし、効率的に利用するために、次のようなメンテナンスツールがインストールされています。

- ・スキャンディスク (Windows Me / Windows 98のみ)

ハードディスクやハードディスク内のデータの障害を検査するためのツールです。

FAT(ファイルアロケーションテーブル)やクラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックすることができます。

- ・ **チェック ディスク** (Windows 2000のみ)
ハードディスクやハードディスク内のデータの障害を検査するためのツールです。
FAT(ファイルアロケーションテーブル)やクラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックすることができます。
- ・ **デフラグ** (Windows Me / Windows 98のみ)
ハードディスクのデータの並び替えを行い、データへのアクセスをやすくするためのツールです。
- ・ **ディスク デフラグ ツール** (Windows 2000のみ)
ハードディスクのデータの並び替えを行い、データへのアクセスをやすくするためのツールです。
- ・ **ディスククリーンアップ** (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000のみ)
知らないうちにハードディスクにたまってしまった unnecessary ファイルを削除し、ディスクの空き容量を増やすためのツールです。
- ・ **システムファイルチェッカー** (Windows 98のみ)
本機の動作が不安定になったときは、「dll」「com」「vxd」「exe」「drv」「ocx」「inf」などのシステムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。「システムファイルチェッカー」を使うと、システムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルを修復することができます。
詳しくは、Windows 98のヘルプをご覧ください。



チェック!!

- ・ システムファイルチェッカーを使うときは、あらかじめ起動中のアプリケーションを終了させておいてください。
- ・ **エラーチェックプログラム** (Windows NTのみ)
ハードディスクの軽い障害を修復するためのプログラムです。
定期的エラーチェックを起動し、ハードディスクにエラーが無いことを確認するようおすすめします。
詳しくは、Windows NTのヘルプをご覧ください。
- ・ **メンテナンスウィザード** (Windows Me / Windows 98のみ)
ハードディスクのメンテナンスを定期的に自動実行するように設定するためのツールです。

これらのツールについて詳しくは、Windowsの「ヘルプ」または「ヘルプとサポート」をご覧ください。

P A R T

4

トラブル解決 Q&A

トラブルの解決方法を具体的に説明しています。



はじめて電源を入れたとき

セットアップの画面が表示されない

『はじめにお読みください』の「こんなときは」をご覧ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

『はじめにお読みください』の「こんなときは」をご覧ください。

セットアップ時に登録した名前、ふりがな、組織名を変更したい

『はじめにお読みください』の「こんなときは」をご覧ください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

『はじめにお読みください』の「こんなときは」をご覧ください。

Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された

機種によっては、電源を入れたときに上記のメッセージが表示されますが、動作上問題はありません。

このメッセージが表示されないようにするには、セットアップを完了したあとで、「Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」のメッセージが表示された」(p.110)をご覧ください。

電源を入れたとき

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された

Windowsでフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。

全OS システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？
システムの入ったフロッピーディスクをセットしなおしてください。

全OS フロッピーディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクがセットされていたときは、ディスクを取り出して、何かキーを押してください。

Me **98** ハードディスクの状態は正常ですか？

起動ディスクから本機を起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。

問題が発見されたときは画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindowsがインストールされていないときも、再セットアップしてください。

参照▶ 再セットアップをするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

「Non-system disk or disk error」が表示された

全OS フロッピーディスクがセットされていませんか？

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。

ディスクを取り出して何かキーを押すか、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

カーソル以外、画面に何も表示されない

全OS フロッピーディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってから電源を入れ直してください。

「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」と表示された(Windows Me / Windows 98)

Me **98** 本機で使用できないフロッピーディスクがセットされていませんか？

本機で使用できないフロッピーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。フロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。ハードディスクからWindowsが起動します。

Me **98** CDドライブの状態は正常ですか？

起動ディスクから本機を起動して、FDISKコマンドを実行し、CDドライブの状態を調べてください。

参照 Windows Me起動ディスクから本機を起動するには「Windows Me起動ディスクからパソコンを起動したい」(Windows Me)(p.208)

Windows 98起動ディスクから本機を起動するには「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい」(Windows 98)(p.209)

CDドライブの「状態」のところに「A」が付いていないとき

FDISKオプションの「4. 領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」がついているか確認してください。ついていないときは、CDドライブがアクティブでない状態であることを表しています。

FDISKオプションの「2. アクティブな領域を設定」を選び、CDドライブをアクティブな状態にしてください。

「領域」のところに何も表示されていない。または、CDドライブの「システム」のところが「FAT32」または「FAT16」以外になっているとき

ハードディスクがフォーマットされていません。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

参照 再セットアップをするときは『活用ガイド 再セットアップ編』

ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした

全OS フロッピーディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクによっては、このマニュアルに書かれていないメッセージが表示されたり、ピーツというエラー音がしたりします。起動時に「何かおかしいな」と思ったら、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされていないか確認してください。

フロッピーディスクがセットされているとき

フロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

フロッピーディスクがセットされていないとき、または上記の手段でも問題が解決しなかったとき

メッセージや症状を書きとめて、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。

ディスプレイに何も表示されない

電源ランプが点灯していないとき

全OS ACアダプタは正しく接続されていますか？ バッテリーパックは取り付けられていますか？ バッテリーは充電されていますか？

『はじめにお読みください』をご覧になり、バッテリーパックやACアダプタを接続しなおしてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

チェック!! ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。

全OS スタンバイ(サスペンド)状態になっていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』をご覧になり、本機をレジュームさせてください。

参照 サスペンド機能について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」または「省電力機能(Windows NT 4.0の場合)」

電源ランプが点灯しているとき

全OS ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか?

【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押して、ディスプレイの輝度を調整してください。

全OS 外付けのディスプレイを接続していませんか?

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先を外付けのディスプレイに設定しているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」をご覧ください。

Me **98** **2000** 液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか?

強制的に本機の電源を切った後、セーフモードでWindowsを起動して、解像度を設定し直してください。

参照

- ・強制的に電源を切る方法 「強制的に電源を切りたい」(p.114)
- ・セーフモードでWindowsを起動する方法 「セーフモードでWindowsを起動する」(p.189, 190)



チェック!!

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NEC フィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

Windows が起動しない

全OS BIOSセットアップメニューの設定は正しく設定されていますか?

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない可能性があります。次の方法でBIOSセットアップメニューの設定をご購入時の状態に戻して、もう一度電源を入れ直してください。




チェック!!

- ・本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。
- ・BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードは解除されません。

モバイルノート(ベ内蔵型) VersaPro Rコンパクトオールインワンノートの場合


- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押し続けます。BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

 **チェック!!** 【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

- 3 キーボードの【F9】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。
- 5 キーボードの【F10】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。
これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

その他のモデルの場合

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押し続けます。BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

 **チェック!!** 【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

- 3 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 5 キーボードの【F10】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

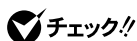
これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示された
(Windows Me)

Me 「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されていますか？

「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。

「ヘルプとサポート」の「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されます。



チェック!!

・セーフモードでは画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows Millennium Startup Menuは、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。セーフモードを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、セーフモードで起動してください。セーフモードで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。

・問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。再セットアップを行ってください。

参照 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された(Windows 98)

98 「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されていますか？

「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角 / 全角】を押してください。次に表示される画面で「OK」ボタンをクリックすると、Windows 98がSafeモードで起動します。

✓チェック!! ・セーフモードでは画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。セーフモードを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、セーフモードで起動してください。セーフモードで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。

・問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。再セットアップを行ってください。

参照▶ 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった(Windows Me / Windows 98)

Me 98 Windowsが不正に終了しませんでしたか?正しい手順で電源を切りましたか?

Windowsが不正に終了した後は、次回Windowsを起動したとき、起動の途中で自動的にスキャンディスクが実行され、ハードディスクに異常がないかチェックが行われます。ハードディスクに異常がなければ、Windowsがそのまま起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

✓チェック!! 再セットアップの必要があるとき

- ・スキャンディスクでシステムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

メモ

正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態(サスペンド)にした内容が何らかの原因で失われてしまうと、このメッセージが表示されます。

参照▶ 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

「Checking file system on X:」と表示される(Windows NT 4.0)

[NT] 上記のように表示されたときは、次のような原因が考えられます。

- ・ 前回電源をOFFにしたときに正しく電源がOFFにならなかった
- ・ 本機の電源を強制的に切ろうとした
- ・ サスペンドした内容が何らかの原因で失われてしまった

メッセージのあと、自動的にハードディスクの内容がチェックされます。
ハードディスクに異常がなければ、Windowsが起動します。
ハードディスクに何か問題があって正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

参照▶ 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

[全OS] 設定したパスワードを正しく入力しましたか？

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。

[全OS] キャップスロックキーランプ(**A**)またはニューメリックロックキーランプ(**1**)が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプ(**A**)やニューメリックロックキーランプ(**1**)が点灯していると、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプ(**A**)が点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してキャップスロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプ(**1**)が点灯しているときは、ニューメリックロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックの解除のしかた

- ・ モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合
【Fn】+【F12】を押す
- ・ モバイルノート(長時間駆動型)の場合
【Num Lk】を押す

- ・その他のモデルの場合
【Num Lock】を押す

パスワードを忘れてしまった

全OS Windowsのパスワードを忘れたとき

Windows Me / Windows 98の場合

「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windowsを再セットアップしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。



本機の購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

Windows 2000 / Windows NT 4.0の場合

「ログオン情報」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windowsを再セットアップしてください。



Administrator権限を持つユーザでログオンし、「ユーザマネージャ」でパスワードを変更することもできます。



チェック!! ローカルマシンのAdministrator権限を持つユーザすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

全OS スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったとき

スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『NEC PCあしんサポートガイド』をご覧のうえ、NECフィールドインギの各支店、営業所などにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。

・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。

1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
3. 印鑑

・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

全OS ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、ハードディスクに保存したデータを見られなくなります。

チェック!! お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意してください。

Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」のメッセージが表示された

全OS 機種によっては、電源を入れたときに毎回メッセージが表示されますが、動作上問題はありません。このメッセージを表示させないようにするには、次の手順を行ってください。

チェック!! 下記の設定を行うと、ハイバネーション用のエリア不足等で警告メッセージが表示されなくなりますので、ご注意ください。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたら、すぐにキーボードの【F2】を押し続けます。BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! 【F2】を押し続けても、BIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

- 3 「省電力セットアップ」を選び、【Enter】を押します。省電力セットアップの画面が表示されます。

4 「自動ハイバネーション」を「使用しない」にします。

5 【Esc】を押して【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい」を選び、【Enter】を押します。

- 98 メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしませんでしたか？
(Windows 98)

メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしたときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

参照 ▶ 休止状態(ハイバネーション)の設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

- 98 休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか？
(Windows 98)

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合は、Windows起動時にこのメッセージが表示されます。

電源を切るとき

正しい電源の切りかたを知りたい

Me **98** 次の手順で電源を切ってください。

1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

2 以下の手順を行います。

・ Windows Meの場合

「終了」を選択して「OK」ボタンをクリックする。

・ Windows 98の場合

「電源を切れる状態にする」を (オン) にして「OK」ボタンをクリックする。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプが消えます。

メモ

「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスタンバイ状態になる設定にしている場合は、電源スイッチを操作したときにスタンバイ状態になりますので、ご注意ください。

2000 **NT** 次の手順で電源を切ってください。

1 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリックします。

「Windowsのシャットダウン」ウィンドウが表示されます。

2 以下の手順を行います。

・ Windows 2000の場合

「シャットダウン」を選択して「OK」ボタンをクリックする。

・ Windows NT 4.0の場合

「シャットダウンする」を (オン) にして「OK」ボタンをクリックする。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプが消えます。

チェック!! 電源スイッチから電源を切らないでください。

Windowsが終了できない(Windows Me / Windows 98)

Me 98 Windowsのデバイスマネージャで「標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が (オン)になっている場合は、下記の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「フロッピーディスクコントローラ」の左の をクリックし、「標準フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックします。
「標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ」の画面が表示されます。
- 3 「全般」タブで「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が (オン)になっている場合は、クリックして (オフ)にします。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

電源が切れない

全OS アプリケーションに異常が起きていませんか？

「正しい電源の切り方を知りたい」の手順で電源が切れないときは、アプリケーションがフリーズ(ハングアップ)するなどの異常を起こしていることが考えられます。

「アプリケーションを強制的に終了させたい」(p.200)の手順で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、もう一度、「正しい電源の切りかたを知りたい」の手順に従って本機の電源を切ってください。

チェック!! アプリケーションを強制的に終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

この方法でも正常に電源を切ることができないときは、次の「強制的に電源を切りたい」の手順に従って本機を強制的に終了させてください。

強制的に電源を切りたい

- 全OS** 「正しい電源の切りかたを知りたい」、「電源が切れない」の手順を行っていない場合は、まず、そちらの手順を行ってみてください。
「正しい電源の切りかたを知りたい」、「電源が切れない」の手順でも電源を切ることができないときは、次の手順で強制的に電源を切ってください。

1 電源スイッチを約4秒以上操作し続けます。

- チェック!** 電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

電源を強制OFFできないとき

約4秒以上電源スイッチを操作し続けても電源を切れないときには、もう一度約4秒以上電源スイッチを操作し続けてください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

キーボードの【Fn】を押し、保護エラーが表示された(Windows 98)

- 98** 電源スイッチを約4秒以上操作し続けてWindowsを強制終了してください。

キーボードの【Fn】は、Windowsの起動完了後、またはアクティブなウィンドウが存在する状態で押すようにしてください。

次のような場合にキーボードの【Fn】を押すと保護エラーが表示される場合があります。

- ・Windowsの起動途中
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」 「Web発行ウィザード」をクリックし、起動後すぐに「キャンセル」ボタンをクリックしてWeb発行ウィザードを終了させたとき
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「ネット ウォッチャー」をクリックし、警告メッセージが表示され「OK」ボタンをクリックしてネットウォッチャーを終了させたとき
- ・その他、アクティブなウィンドウがないとき



省電力機能(Windows Meの場合)

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

Me 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。



Me プログラムを実行していたり、電話回線を使用していませんか?



実行中のプログラムをすべて終了してください。また、電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

Me アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか?

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時、画面が表示されない

Me キャップスロックキーランプ()とスクロールロックキーランプ()が交互に点灯していませんか?

スリープ状態から復帰(レジューム)したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ()とスクロールロックキーランプ()が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

チェック!! スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

Me NXパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作してください
操作すると画面が正常に復帰(レジューム)します。

休止状態(ハイバネーション)にしようとするスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう

Me 必要な設定は済んでいますか?

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」を見て設定してください。

参照▶ 休止状態(ハイバネーション)について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された

Me 「電源を入れたとき」の「Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された」(p.110)をご覧ください。

休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)に失敗した

Me Windowsが起動する場合

Windowsのヘルプをご覧のうえ、対処してください。

参照▶ 「スタート」ボタン 「ヘルプ」 「トラブルシューティング」 「ハードウェアとシステムデバイスに関する問題」 「システムデバイスと電源の管理に関するトラブルシューティング」

チェック!! 休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)に失敗している場合は、Windowsが起動しても、休止状態(ハイバネーション)にする前の作業内容が復元されない場合があります。保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態(ハイバネーション)にする前に、必要なデータは必ず保存するようにしてください。

Me Windowsが起動しない場合

チェック!! 次の操作を行ったあとWindowsが正常に起動しても、休止状態(ハイバネーション)にする前の状態は復元されません。保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態(ハイバネーション)にする前に、必要なデータは必ず保存するようにしてください。

休止状態(ハイバネーション)のときに本機の設定を変更したり、周辺機器などの機器構成を変更すると、Windowsが起動しなくなることがあります。このような場合は、設定や機器構成を元の状態に戻してから電源スイッチを操作してください。

また、電源を入れたときに「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again[Enter=Y, Esc=N]？」というメッセージが表示された場合は、【N】を押すと通常どおり本機を起動できます。

上記の手順でもWindowsが起動しない場合には、次の手順でハイバネートファイルを削除してください。

- 1 Windows Me起動ディスクをセットして、本機を再起動します。
- 2 「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されたら、【 】と【 】を使って「Start computer with CD-ROM support」を選択し、【Enter】を押します。
- 3 コマンド プロンプトが表示されたら、次のように入力します。

```
c:  
cd windows  
attrib -r -a -s -h vmmhiber.w9x  
del vmmhiber.w9x
```
- 4 フロッピーディスクドライブからWindows Me起動ディスクを取り出します。
- 5 本機を再起動します。

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

Me バッテリーの残量はありますか？

ACアダプタを接続し、液晶ディスプレイを開いた状態で本機の電源を入れると、データが復帰(レジューム)できる場合があります。

Me アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか？

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

Me パソコンがスリープ状態への移行処理中、またはスリープ状態から復帰(レジューム)中に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・電源を切った

これらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

省電力機能(Windows 98の場合)

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

- 98 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。

- 98 プログラムを実行していたり、電話回線を使用していませんか?

実行中のプログラムをすべて終了してください。また、電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

- 98 アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか?


アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時、画面が表示されない

- 98 キャップスロックキーランプ(Ⓐ)とスクロールロックキーランプ(Ⓝ)が交互に点灯していませんか?

スリープ状態から復帰(レジューム)したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ(Ⓐ)とスクロールロックキーランプ(Ⓝ)が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

-  **チェック!!** スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

- 98 NXパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作してください
操作すると画面が正常に復帰(レジューム)します。

休止状態(ハイバネーション)にしようとするスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう

- 98 休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか?

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」を見て設定してください。

- 98 再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け/取り外しやCDドライブの圧縮/圧縮解除/CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか?

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け/取り外しやCDドライブの圧縮/圧縮解除/CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション)の再設定が必要です。

- 参照▶ 休止状態(ハイバネーション)について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される

- 98 ハードディスク内の空き領域が不足していませんか?

ハイバネーション設定ユーティリティでは、実装しているメモリ容量によって作成される休止状態(ハイバネーション)用のファイルの大きさが変わります。必要な連続した空き領域を確保してから休止状態(ハイバネーション)の設定を行ってください。

Windows起動時に、「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された

- 98 「電源を入れたとき」の「Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された」(p.110 をご覧ください)。

休止状態(ハイバネーション)にできない

- 98 休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

- 98 アプリケーションや周辺機器は、休止状態(ハイバネーション)に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れなおしてください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態(ハイバネーション)にしないでください。

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

- 98 バッテリーの残量はありますか?

ACアダプタを接続し、液晶ディスプレイを開いた状態で本機の電源を入れると、データが復帰(レジューム)できる場合があります。

- 98 アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

- 98 パソコンがスリープ状態への移行処理中、またはスリープ状態から復帰(レジューム)中に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・電源を切った

これらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

「システム スタンバイ」の設定どおりにスタンバイ状態(サスペンド)にならない

- 98 「システム スタンバイ」の時間が「モニタの電源を切る」の時間より後に設定されていませんか？

「コントロールパネル」の「電源の管理」アイコンをダブルクリックして「システム スタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合には、「モニタの電源を切る」が実行された時点から設定時間が経過したときにスタンバイ状態(サスペンド)になります。

例えば、「システム スタンバイ」を20分後、「モニタの電源を切る」を15分後に設定した場合、スタンバイ状態(サスペンド)になるのは、「モニタの電源を切る」(15分後)から20分経過した35分後になります。

また、キーボードやNXパッドなどのポインティングデバイスの入力が無くなってから20分後にスタンバイ状態(サスペンド)になるように設定したい場合は、次の例のように設定してください。

例1 「システム スタンバイ」:15分後
「モニタの電源を切る」:5分後

例2 「システム スタンバイ」:20分後
「モニタの電源を切る」:なし

休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時に英語のメッセージが表示される

98) バッテリー残量が少なくなっていますか?

バッテリー残量が少ない状態で、休止状態(ハイバネーション)から復帰(レジューム)しようとする、以下のメッセージが表示される場合があります。

「Critical Battery

Choose one of the following:

* To restore Save to File data, press (P) to power down, or connect the AC adaptor and press (R) to resume.

* To discard Save to File data, press (B) to boot.

Do you want to (B)oot or (P)ower down?」

このメッセージが表示された場合は、次のどれかの手順を行ってください。

ACアダプタが近くにあつて、復帰(レジューム)したい場合

ACアダプタを接続し【R】を押してください。

休止状態(ハイバネーション)から復帰(レジューム)します。

ACアダプタが近くにない場合

【P】を押して電源をオフにしてください。

休止状態(ハイバネーション)になったときのデータはそのまま残っています。

ACアダプタを接続するか、十分に充電されているバッテリーに交換した後で復帰(レジューム)することができます。

休止状態(ハイバネーション)になる前に復帰(レジューム)する必要がない場合

ACアダプタを接続して【B】を押してください。

システムが再起動します。



省電力機能(Windows 2000の場合)

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

- 2000 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。

- 2000 プログラムを実行していたり、電話回線を使用していませんか?

実行中のプログラムをすべて終了してください。また、電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

- 2000 アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか?

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

休止状態(ハイバネーション)にできない

- 2000 休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか?

「休止状態をサポートする」のチェックボックスがチェックされていないか、チェックされていても「ポータブルコンピュータを閉じたとき」または「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定が「休止状態」になっていないか、「休止状態(ハイバネーション)」にできません。

以下の手順で設定してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- 2 「休止状態」タブをクリックし、「休止状態をサポートする」のチェックボックスにチェックをつけます。
- 3 「適用」ボタンをクリックします。
- 4 「詳細」タブをクリックします。
- 5 「電源ボタン」欄の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」または「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「休止状態」にします。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。



この後は、手順5で「休止状態」に設定した操作を実行すると休止状態（ハイバネーション）にすることができます。

- 2000 アプリケーションや周辺機器は、休止状態（ハイバネーション）に対応していますか？


アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れなおしてください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態（ハイバネーション）にしないでください。

スリープ状態から復帰（レジューム）したが、何も画面に表示されない

- 2000 キャップスロックキーランプ（)とスクロールロックキーランプ（)が交互に点灯していませんか？

スリープ状態から復帰（レジューム）したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ（)とスクロールロックキーランプ（)が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

-  **チェック!!** スタンバイ状態（サスペンド）から復帰（レジューム）したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

2000 バッテリーの残量はありますか？

スタンバイ状態(サスペンド)のときにバッテリー残量がなくなると、電源が切れます。

参照▶ バッテリーの残量を確認するには『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリー」

2000 アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか？

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

2000 パソコンがスリープ状態への移行処理中、またはスリープ状態から復帰(レジューム)中に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・電源を切った

これらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら、「コンピュータのロックの解除」画面が表示された

2000 「コンピュータのロックの解除」画面が表示されるように設定されていませんか？

セットアップ時に登録したパスワードを入力し「OK」を押すと復帰(レジューム)させることができます。


このパソコンはご購入時の状態では「コンピュータのロックの解除」画面が表示されるように設定されています。

「コンピュータのロックの解除」画面を表示させないようにするには、以下の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「詳細」タブをクリックし、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」のチェックボックスのチェックをはずします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

休止状態(ハイバネーション)から正しく復帰(レジューム)できない

- 2000** フロッピーディスクやCD-ROMがセットされている状態で、休止状態(ハイバネーション)から復帰(レジューム)すると、正しく復帰(レジューム)できない場合があります。
フロッピーディスクやCD-ROMを抜いてから休止状態(ハイバネーション)にするようにしてください。

 **チェック!!** フロッピーディスクを使用している場合は、必要なファイルを保存してからフロッピーディスクを抜いてください。



省電力機能(Windows NT 4.0の場合)

レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない



NT 周辺機器はサスペンド/レジューム機能に対応していますか？



サスペンド/レジューム機能に対応していない周辺機器でこの機能を使うとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このような周辺機器を使うときは、サスペンド状態にしないでください。

NT サスペンド状態のときに機器構成を変えませんでしたか？


サスペンドしたあとで、接続している周辺機器などの構成を変えると、レジュームできなくなることがあります。このようなときは、本機が自動的に再起動し、保存していなかったデータは失われます。

レジュームしたときに、何も画面に表示されない

NT キャップスロックキーランプ()とスクロールロックキーランプ()が交互に点灯していませんか？

レジュームしたとき、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ()とスクロールロックキーランプ()が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

 **チェック!!** レジュームしたときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

サスペンドできない

NT 電源スイッチの設定を「パワーボタン(Power Button)」にしていますか？

BIOSセットアップメニューで「システムスイッチ切り替え(System Switch)」の設定を「パワーボタン(Power Button)」にしているとサスペンドできません。「システムスイッチ切り替え(System Switch)」を「スリープボタン(Sleep Button)」に設定してください。

自動的にサスペンドしない

NT 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか？

双方向通信するプリンタなどは、一定間隔でメモリ、ハードディスク等にアクセスされるため時間設定による省電力機能が働きません。省電力機能を使用したい場合は、このようなアプリケーションを終了させておいてください。

本機に添付されているアプリケーションでは、「Masty Data Backup」および「Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)」状態監視を行うに設定した場合)がこれに相当します。

サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

NT パソコンがサスペンド状態への移行処理中、またはサスペンド状態からレジューム中に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・電源を切った

これらの操作を行うと、レジュームできなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

バッテリー

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない

全OS バッテリーがフル充電されていませんか？

バッテリーがフル充電されている場合はバッテリー充電ランプが消灯しています。既にバッテリーがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことがあります。

全OS バッテリーパックが接触不良を起こしていませんか？

バッテリーパックが接触不良のときには、バッテリー充電ランプが点滅します。バッテリーパックを取り外し、もう一度取り付け直してください。

インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me 98 2000 バッテリーパックは取り付けられていますか？

バッテリーパックが取り付けられていないと電源アイコン(🔋)は表示されません。

Me 98 2000 バッテリーパックから本機を駆動していませんか？

バッテリーパックから本機を駆動している場合は、電源アイコン(🔋)が表示されません。

Me 98 2000 「コントロールパネル」の「電源の管理」または「電源オプション」で、「アイコンをタスクバーに常に表示する」はオンになっていますか？

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」または「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。
 - 2 「詳細」タブの「アイコンをタスクバーに常に表示する」が (オフ) になっているときは、クリックして (オン) にします。
 - 3 「OK」ボタンをクリックします。
- インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されます。

フル充電したのに、バッテリー充電ランプが点灯する

- 全OS** バッテリーは少しずつ自然放電しているの、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプが点滅する

- 全OS** バッテリーが正しく取り付けられていますか？

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリーパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリー」の「バッテリーリフレッシュ」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので、別売のバッテリーパックと交換してください。



表示

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

Me **98** **2000** Windowsの省電力機能で「モニタの電源を切る」を設定していませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧になり、スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

NT スタンバイモードまたはサスペンド状態になっていませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、サスペンド状態になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows NT 4.0の場合)」をご覧になり、レジュームしてください。

デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい (Windows 98 / Windows 2000)

98 次の操作をするとデスクトップ画面はWindows 95に近いものになります。

- 1 「マイコンピュータ」を開き、「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブの「Windows デスクトップのアップデート」で「従来のWindowsスタイル」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

2000 次の操作をするとデスクトップ画面はWindows 95に近いものになります。

- 1 「マイコンピュータ」を開き、「ツール」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブの「Active Desktop」で「従来のWindows デスクトップを使う」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

Internet Explorer 4.01 SP2でのアクティブ デスクトップではなく、Windows NTの画面にしたい(Windows NT 4.0)

NT アクティブ デスクトップ機能を外す

インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップ機能を外すときは、次の手順に従ってください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの「インストールと削除」タブで「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックします。
「Windowsデスクトップのアップデートコンポーネントを削除するが、Internet Explorer 4.0のWebブラウザは削除しない」をクリックして (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
- 4 再起動を促すメッセージが表示されたら「Windowsの再起動」ボタンをクリックします。
Windowsが再起動します。

NT インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップ機能を削除せずWindows NTの画面に近づける

次の操作をすると画面はWindows NT 4.0に近いものになります。

- 1 「マイコンピュータ」を開き、「表示」メニュー 「フォルダオプション」をクリックします。
「フォルダオプション」の画面が表示されます。
- 2 「全般」ウィンドウの「従来のWindowsスタイル」を選択し「OK」ボタンをクリックします。

アクティブデスクトップで「Webコンテンツの表示」にチェックをつけたら「インターネット接続が設定されていないため、Active Desktopの項目を表示できません。」というエラーが表示された (Windows 2000)

- 2000** 「OK」ボタンをクリックすると、自動的に「インターネット接続ウィザード」が起動します。このあとは、画面のメッセージにしたがって設定を行ってください。設定を行うとエラーは出なくなります。

MS-DOSプロンプト画面(コマンドプロンプト画面)がフルスクリーンになってしまった

- 全OS** 【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

MS-DOSモードを終了してWindowsに戻りたい (Windows 98)

- 98** 「EXIT」と入力して【Enter】を押します。

Windowsが起動します。

MS-DOSプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させても画面が表示されない (Windows Me / Windows 98)

- Me 98** 【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えると、正常に動作するようになります。

MS-DOSプロンプト画面で、Windowsのスクリーンセーバーが起動した (Windows Me / Windows 98)

- Me 98** Windowsのスクリーンセーバーを設定している場合、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトで別売のマウス操作のみ行っていると、Windowsのスクリーンセーバーが起動することがあります。
次の手順で、スクリーンセーバーが動作しないように設定してください。

1 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

MS-DOSプロンプトが、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に変わります。

2 【Alt】を押したまま【スペース】を押します。

MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。

3 メニューから「プロパティ」を選択します。

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。

4 「その他」タブをクリックし、「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使う」の (オン) をクリックして (オフ) にします。**5** 「OK」ボタンをクリックします。**6** 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

ディスプレイの省電力機能を設定できない(Windows Me / Windows 98)



ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。

Me **98** ディスプレイは省電力機能に対応していますか？

省電力機能は、パソコン本体やパソコンに接続されている周辺機器の電源を詳細に設定し、電力消費を節減することができる機能です。なお、省電力機能に対応していないディスプレイでは、この機能は設定できません。ディスプレイが省電力機能に対応しているか、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧になり、確認してください。

Me **98** 「コントロールパネル」の「画面」でディスプレイの種類が表示されていますか？**1** 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。

「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。

3 「省電力モニタ」をクリックして (オン)にします。

参照 ディスプレイの種類を指定するときには『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」

Me 98 プログラムを実行していたり、電話回線を使用していませんか？

ディスプレイの種類が表示されているときは、実行中のプログラムをすべて終了してください。電話回線を使用中のときは、回線を切ってください。

「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される(Windows Me/Windows 98)

Me 98 「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか？

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。
「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。

参照 ディスプレイの種類を指定するには『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」

表示できるはずの高解像度を選べない
(Windows Me/Windows 98)

Me 98 別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作を行ってください。

1 ディスプレイを接続し、Windowsを起動します。
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。

2 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。
- 4 「オプション」の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして (オフ)にします。
- 5 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。
- 6 Windowsを再起動します。
- 7 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 8 「設定」タブをクリックします。
- 9 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして「変更」ボタンをクリックします。

ここから先は、表示された画面により手順が異なります。

「デバイスの選択」の画面が表示された場合

- 10 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。

接続したディスプレイの種類がディスプレイ一覧に表示されないときは、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

- 11 「OK」ボタンをクリックします。
- 12 「閉じる」ボタンをクリックします。



チェック!! 「リフレッシュレート」の画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。再度「リフレッシュレート」の画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。

- 13 「画面のプロパティ」の「OK」ボタンをクリックします。

「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面が表示された場合

- 10 次の手順を行います。

・ Windows Meの場合

「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選び「次へ」ボタンをクリックします。

- ・ Windows 98の場合
「次へ」ボタンをクリックします。

11 次の手順を行います。

- ・ Windows Meの場合
「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を選び「次へ」ボタンをクリックします。
- ・ Windows 98の場合
「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選び「次へ」ボタンをクリックします。

12 「すべてのハードウェアを表示」を選びます。

13 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。

接続したディスプレイの種類がディスプレイ一覧に表示されないときは、「製造元」で(標準モニタの種類)を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 ディスプレイの製造元とモデル ディスプレイ添付のマニュアル

14 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。

15 「完了」ボタンをクリックします。

16 「閉じる」ボタンをクリックします。

チェック!! 「リフレッシュレート」の画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。再度「リフレッシュレート」の画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。

17 「OK」ボタンをクリックします。

18 Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックしてください。

参照 解像度の変更をするときには『活用ガイド ハードウェア編』PART 1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

表示できるはずの高解像度を選べない(Windows 2000)

2000 別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

- 1 ディスプレイを接続し、Windowsを起動します。
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。
- 4 「モニタの種類」一覧から接続したモニタを選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。
- 8 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を (オン) にします。
- 9 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 ▶ ディスプレイの製造元とモデル ディスプレイ添付のマニュアル

- 10 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。
- 11 「完了」ボタンをクリックします。
- 12 「閉じる」ボタンをクリックします。
- 13 「OK」ボタンをクリックします。

参照▶ 解像度の変更をするときには『活用ガイド ハードウェア編』PART 1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

ディスプレイに何も表示されない(Windows Me / Windows 98)

Me 98 ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか?

【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押して、ディスプレイの輝度を調整してください。

Me 98 液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか?

強制的に本機の電源を切ったあと、セーフモードでWindowsを起動して、解像度を設定しなおしてください。

参照▶ ・強制的に電源を切る方法 「強制的に電源を切りたい」(p.114)

・セーフモードでWindowsを起動する方法 「セーフモードでWindowsを起動する」(p.189)

・解像度を設定する方法 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」

Me 98 別売のディスプレイが接続されていませんか?

別売のディスプレイを接続し、画面の出力先が「CRT」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。接続しているディスプレイの電源が入っていることを確認してください。

メモ

【Fn】+【F3】で画面の出力先を切り替えることができます。

Me 98 DirectXに対応したアプリケーションを実行しませんでしたか?

DirectXに対応した一部のゲームなどのアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションの添付マニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。

メモ

320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、本機では正常に動作しない場合があります。

これらのチェックを行っても画面に何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。

画面が真っ暗になった

全OS 「電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる（ p.132 ）をご覧ください。

表示や色がおかしい

全OS Windowsの表示色を256色にしていますか？

アプリケーションによっては、表示色を256色に設定していると、画面の色が正しく表示されない場合があります。次の操作をすると正しく表示されるようになることがあります。

- 1 デスクトップ上のウィンドウやアイコン、タスクバー以外の部分を右クリックします。
- 2 表示されたメニューから「アクティブデスクトップ」をポイントします。
- 3 以下の手順を行います。
 - ・ Windows Me / Windows 2000の場合
「Webコンテンツの表示」をクリックして、チェックを外してください。
 - ・ Windows 98 / Windows NT 4.0の場合
「Webページで表示」をクリックして、チェックを外してください。

解像度や表示色を変更できない（ Windows Me / Windows 98 ）

Me 98 「互換性の警告」の画面から本機を再起動しようとしませんでしたか？

解像度や表示色の設定を変えたときに、「互換性の警告」ウィンドウが表示される場合があります。その場合は、次のように対処してください。

- 1 「再起動しないで新しい色の設定を適用する」または「再起動せずに設定を適用する」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

2 本機を再起動します。

「互換性の警告」ウインドウで「新しい色の設定でコンピュータを再起動する」または「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックすると、再起動が正常に行われなかった場合があります。そのときは、一度強制的に本機の電源を切った後、もう一度電源を入れてください。

スクリーンセーバー復帰時に保護エラーが表示された (Windows Me / Windows 98)

Me 以下の操作を行ってください。

1 エラーメッセージ中の「閉じる」ボタンをクリックします。

2 「アクティブ デスクトップの修復」メッセージが表示された場合は、「アクティブ デスクトップの復元」ボタンをクリックします。

画面が復元されます。

操作後、画面上のアプリケーションが一部消失したら、「画面のプロパティ」の「Web」タブでアプリケーションを再設定してください。

98 以下の操作を行ってください。

1 エラーメッセージ中の「閉じる」ボタンをクリックします。

2 「Active DeskTopの修復」メッセージが表示された場合は、「Active DeskTopを元に戻す」をクリックし、「Active DeskTopを元に戻しますか」が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

操作後、画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)のアイコンが一部表示されなくなりますが、Windowsを再起動すると正常に表示されます。

NXパッド

画面回転機能使用時にNXパッドの操作と画面のポインタの動作が合わない(モバイルノートの場合)

全OS NXパッドドライバをインストールしてください。

参照 NXパッドドライバのインストールについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「NXパッド」

NXパッドの拡張機能を使用したい

全OS NXパッドの拡張機能を使用したい場合は、NXパッドのドライバをインストールしてください。

参照 NXパッドドライバのインストールについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「NXパッド」

何も反応しない、または反応が鈍い

キーボードのキーを押すと反応する

全OS 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

全OS NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

全OS NXパッドを使用しない設定になっていませんか？

モバイルノート(ベイ内蔵型) VersaPro Rコンパクトオールインワンノートをお使いの場合は、BIOSセットアップメニューの「詳細(Advanced)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

コンパクトオールインワンノート、モバイルノート(長時間駆動型)をお使いの場合は、BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ(Advanced CMOS Setup)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

参照 BIOSセットアップメニューの設定 『活用ガイド ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

Me **98** **2000** 「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されていませんか？

NXパッドドライバをインストールした場合は、次の手順でボタンの設定を変更することができます。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ボタン」タブの「ボタン設定」で「左ボタン」「右ボタン」「左右ボタン」の設定を使いやすいように設定してください。
必ずどれか1つに「クリック」を設定してください。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

Me **98** **2000** スクロール領域で操作していませんか？

NXパッドドライバをインストールした場合は、NXパッドのスクロール機能が有効になります。パッドのスクロール領域(右端、下)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。スクロール機能のオン/オフは「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「ジェスチャー」タブで設定できます。

反応が鈍い

全OS ポインタの速度が遅くなっていませんか？

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブで「速度」を調整してください。

キーボードのキーを押しても反応しない

全OS マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 アプリケーションを強制終了をするときには「アプリケーションを強制的に終了させたい」(p.200)

Me **98** 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される「プログラムの強制終了」の画面で、ウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックしませんでしたか？

「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。操作を中断する場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。

もしも操作ができなくなってしまった場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制終了してください。

Me **98** コントロールパネルのキーボードの設定は適切ですか？

下記のようにして設定を確認してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「Mitsumi USB Quick Scroll Mouse」をダブルクリックします。

3 「全般」タブの「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が (オフ)になっていることを確認してください。

チェック!! 「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」を (オン)にすると、キーボードやNXパッドなどのポインティングデバイスの操作ができなくなる場合があります。

NXパッドが動作しない

Me **98** **2000** NXパッドドライバをインストールした場合は、誤動作防止のため、キー入力時にはNXパッドからの操作が無効になるように設定されます。
この設定を解除するには、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「タッピング」タブをクリックし、「タイピング」の「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」の (オン) をクリックして (オフ) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

NT 「マウスのプロパティ」で「タッピング」を (オフ) に設定していませんか？

マウスのタッピング設定が (オフ) になっているとタップ&ドラッグができなくなります。

次の手順に従って設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「タッピング」タブの「タッピング」をクリックして (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

文字入力

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

全OS マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待ってもキーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 ▶ アプリケーションを強制終了をするときには「アプリケーションを強制的に終了させたい」(p.200)

Me 98 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される「プログラムの強制終了」の画面で、ウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックしませんでしたか？

「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウのタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。

操作を中断する場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。

もしも操作ができなくなってしまった場合は、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制終了してください。






別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me 98 2000 キーボードの設定は行いましたか？




設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。

チェック!! この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えなくなる場合があります。

Windows Meの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の  をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。
- 3 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。
- 4 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の  を  にし、「次へ」ボタンをクリックします。
- 5 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」の  (オフ) をクリックして  (オン) にし、「次へ」ボタンをクリックします。
- 6 「ディスク使用」ボタンをクリックし、キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定して「OK」ボタンをクリックします。
- 7 「次へ」ボタンをクリックします。
これ以降は画面の指示に従って設定してください。

Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の  をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。
- 3 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックします。
- 5 「現在使用しているデバイスよりさらに適したデバイスを検索する(推奨)」の  (オフ) をクリックして  (オン) にし、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「検索場所の指定」の (オフ) をクリックして (オン) にし、キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定します。

7 「次へ」ボタンをクリックします。

これ以降は画面の指示に従って設定してください。

Windows 2000の場合

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックして「キーボード」の左の をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。

3 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックします。

5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の (オフ) をクリックして (オン) にし、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「ドライバファイルをどこで検索しますか?」と表示されたら、「場所を指定」の (オフ) をクリックして (オン) にし、「次へ」ボタンをクリックします。

7 キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定して、「OK」ボタンをクリックします。

8 「次へ」ボタンをクリックします。

これ以降は画面の指示に従って設定してください。

Me **98** コントロールパネルのキーボードの設定は適切ですか?

Mitsumi USB Quick Scroll Mouseを接続している場合は、下記のように設定を確認してください。


1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「Mitsumi USB Quick Scroll Mouse」をダブルクリックします。
- 3 「全般」タブの「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」が (オフ) になっていることを確認してください。


キーボードで押したキーと違う文字が表示される

全OS キャップスロックキーランプ () が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプ () が点灯している状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

全OS ニューメリックロックキーランプ () が点灯していませんか？

ニューメリックロックキーランプ () が点灯しているときには、モバイルノートの場合は、キー上段に青または黄色で表示されている数字や記号が入力され、その他のモデルの場合は、キー前面に印字されている数字や記号が入力されます。ニューメリックロックを解除すると、通常の文字が入力される状態になります。

ニューメリックロックの解除のしかた

- ・モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合
【Fn】+【F12】を押す
- ・モバイルノート(長時間駆動型)の場合
【Num Lk】を押す
- ・上記以外のモデルの場合
【Num Lock】を押す

全OS 入力したいモードになっていますか？

日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角】を押します。

日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押します。

記号などで入力できない文字がある

- 全OS** 日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

参照▶ 文字コード表の使いかた 文字コード表のヘルプ

MS-DOSプロンプト(コマンドプロンプト)のとき、バックスラッシュ(\)が入力できない

- 全OS** MS-DOSプロンプト(コマンドプロンプト)が日本語モードになっていませんか？

バックスラッシュ(\)は、MS-DOSプロンプト(コマンドプロンプト)が日本語モードの場合はキーを押しても入力できません。

\の代わりにをを入力して代用することができます。

例) 英語モード >\cd

日本語モード .. >¥cd

\を入力したい場合は次の手順で一度英語モードにしてください。

- 1 MS-DOSプロンプト(コマンドプロンプト)で「 US 」と入力して【Enter】を押します。

これで英語モードになります。日本語モードにもどす場合は、MS-DOSプロンプトで「 JP 」と入力してから【Enter】を押してください。

キーボード操作でログオフしたら、マウスポインタが動かなくなった(Windows 2000)

- 2000** 次のように操作してください。

- 1 【Tab】を押して入力フィールドを移動し、ユーザ名 / パスワードを入力します。
- 2 【Enter】を押してログオンします。
- 3 ログオン後、何かキーを押します。

また、次のように設定を変更しておく、上記のような現象を回避することができます。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「タッピング」タブをクリックします。
- 3 タイピングの「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」をにします。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

ファイル保存

ハードディスクに保存できない

全OS ディスクの空き領域は足りていますか？

ディスクの空き領域を確認してください。足りない場合は「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.178)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクに保存できない

全OS フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか？

ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照▶ ライトプロテクトを解除するには「読み込みはできるが、書き込みができない」(p.176)

全OS ディスクの空き領域は足りていますか？

ディスクの空き領域を確認してください。ディスクの空き領域が足りないときは、いらぬファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

MOドライブやハードディスクなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。本機では、市販のMOドライブやハードディスクなどを接続することができます。

長いファイル名をつけられない。表示できない

全OS MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトを使っていませんか？

MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。



インターネット / パソコン通信

接続できない

全OS モデムがきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧ください、セッティングしてください。

Me 98 2000 電話回線の設定は正しいですか？

ご利用の電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線)かをご確認ください。電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

また、ご利用の電話回線が外線発信が必要な場合は、外線発信番号が設定されているかをご確認ください。パソコンの回線の設定を「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで確認し、ご利用の電話回線に合わせます。

電話回線の設定は、次の「電話回線の設定」の手順に従って行ってください。

電話回線の設定

Windows Me / Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

2 「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで設定をします。



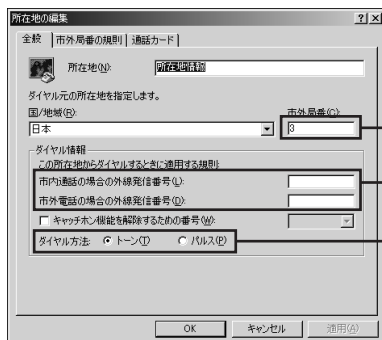
ご使用になる地域の市外局番が「0」ではじまる場合、最初の「0」を除いた番号を入力します。携帯電話 / PHS の場合は「000」を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地をクリックし、「編集」ボタンをクリックします。
「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。



ご使用になる地域の市外局番が「0」ではじまる場合、最初の「0」を除いた番号を入力します。携帯電話 / PHS の場合は「000」を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します

全OS ダイヤルアップの設定は正しいですか？

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの画面で、正しく設定できているかを確認してください。

Me **98** **2000** インターネットエクスプローラの接続設定は正しいですか？

- 1 「コントロールパネル」の「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。
「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルアップの設定」で「通常の接続でダイヤルする」が (オン) になっているか確認します。

全OS 電話を使っていませんか？

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

全OS キャッチホンサービスを受けていませんか？

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

全OS 電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか？

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

全OS FAXモデムは動作していますか？

デバイス マネージャの画面を表示して(p.188) FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」がついているときは、正しく認識されていません。Windowsのヘルプを参照して、「×」や「！」や「？」がついていない状態にしてください。

全OS 親機の通信圏外でダイヤルしようとしていませんか？(ワイヤレスモデルの場合)

別売の親機との有効通信圏は最大約100m以内です。有効通信圏内でダイヤルしなおしてください。

BIOSセットアップメニューで設定すると、圏内 / 圏外の状況をランプで表示させることができます。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「表示ランプ」をご覧ください。

全OS 親機の設定が間違っていないか?(ワイヤレスモデルの場合)

購入時の状態では、別売の親機のダイヤル方法は「パルス(20pps)」に設定されています。ご利用の電話回線のダイヤル方法が「トーン(プッシュ信号)」や「パルス(10pps)」の場合、別売の親機の設定を変更する必要があります。

参照▶ 別売の親機に添付のマニュアル

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されているか確認してください。」と表示される

Me **98** **2000** ポート(COM値)は接続されていますか?

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。
通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。
「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。
- 2 「モデム」タブをクリックし、使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。
通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

全OS 他にも電話回線を使うアプリケーションを起動していませんか?

他にも電話回線を使うアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了してからインターネットに接続してください。

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

全OS 通信相手との通信条件は正しいですか？

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

全OS 本機の近くにテレビやラジオなどがありますか？

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。

本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。

Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき

全OS HTML形式でメールを送信していませんか？

メールの送信形式をテキスト形式にしてください。

ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューから「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。
- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 4 「ニュース送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

これで送信形式が変更されました。

メモ

メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして (オン)にします。

全OS 半角のカタカナや特殊記号を使っていますか？

半角のカタカナや特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)は使わないでください。

全OS 件名(サブジェクト)に漢字やひらがなを使っていますか？

件名(サブジェクト)には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでください。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にしてください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない

全OS メールに添付したファイルサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか？

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

メモ

圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

全OS Outlook Expressで電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信する設定を行っていますか？

相手もOutlook Expressを使っている場合、次の手順を行うと、サイズが制限されているプロバイダのサーバーに、制限を超えるサイズの電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信できます。分割して送信された電子メールは受信先で結合され、1つの電子メールになります。

- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。
- 2 「メール」タブまたは「ニュース」タブをクリックし、アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細設定」タブをクリックし、「次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する」をチェックしてオンにします。

4 プロバイダが許可している最大のサイズを入力します。

メールのサイズの上限については、加入しているプロバイダにご確認ください。

全OS Outlook Expressでサーバーのタイムアウトまでの時間が短く設定されていませんか？

- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。
- 2 アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細設定」タブで「サーバーのタイムアウト」のつまみを右にドラッグして、時間を調節します。

「発信音がありません。」と表示された

Me **98** **2000** 内線 / 外線の区別がある電話回線を使っていませんか？

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない、または通常の発信音(「ツー」という長い音)以外の音が聞こえる場合は、次の手順に従って設定してください。

Windows Me / Windows 98の場合

- 1 次の手順を行い、表示される画面の「ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
 - ・ Windows Meの場合
「コントロールパネル」を開きます。
 - ・ Windows 98の場合
「マイコンピュータ」を開きます。
- 2 使用する接続先のアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「全般」タブの「接続の方法」の「設定」ボタンをクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 4 「接続」タブの「接続オプション」の「トーンを待ってからダイヤルする」の (オン) をクリックして (オフ) にします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
- 7 使用する接続先のアイコンをダブルクリックします。
- 8 「ダイヤルのプロパティ」をクリックして、「外線発信番号」を入力します。
たとえば、0発信が必要な場合は、「外線発信番号」の「市内通話」と「市外通話」にそれぞれ「0」を入力します。
- 9 「OK」ボタンをクリックし、「キャンセル」ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地をクリックし「編集」ボタンをクリックします。
「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ダイヤル情報」欄で「外線発信番号」を入力します。
たとえば、0発信が必要な場合は、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外通話の場合の外線発信番号」にそれぞれ「0」を入力します。
- 4 「ダイヤル情報」欄でお使いの電話回線にあわせて「トーン」または「パルス」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「モデム」タブをクリックし、使用するモデムをクリックし「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 7 「全般」タブの「ダイヤルの管理」欄で「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックを外します。
- 8 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

アプリケーションによっては独自に設定を保存している場合があります。このようなアプリケーションをお使いの場合は、各アプリケーションのマニュアルに従って設定を変更してください。

チェック!! ワイヤレスモデルで別売の親機をご利用の場合、構内変換機によっては外線発信番号のダイヤル間隔に対応できない場合があります。その場合は、外線発信番号が必要のない電話回線をご利用ください。

全OS 加入電話回線以外の回線と接続していませんか？

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。また、本機を破損するおそれがあります。

「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me **98** **2000** トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。次の手順に従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

Windows Me / Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ダイヤル方法」欄で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。
「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地をクリックし、「編集」ボタンをクリックします。
「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ダイヤル情報」欄の「ダイヤル方法」で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。

4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

「回線はビジーです。」と表示された(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me 98 2000 トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された(p.162)の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me 98 2000 電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された(p.162)の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号(“0”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された

全OS 電話回線の設定は正しいですか？

「接続できない(p.154)の「電話回線の設定」の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

全OS ISDN回線の同期 / 非同期の設定は正しいですか？

「ダイヤルアップネットワーク」を開き、使用する接続先のアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックすると、「接続の方法」欄にドライバが表示されます。

一般に、「SYNC」という部分があれば同期、「ASYNC」という部分があれば非同期です。また「128」という部分があれば128kbps接続です。これらがプロバイダが公開しているアクセスポイントの設定と同じが確認し、間違っているときは設定しなおしてください。

ダイヤラでダイヤルできない

全OS 「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「ダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

Me **98** **2000** 正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がしなかったり、音が小さいときは次の手順で調整してください。

モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」「あり」と変化します。

モバイルノート(長時間駆動型)の場合


【Fn】を押したまま【F6】を押して、音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」「小」「中」「大」と変化します。

モバイルノート以外のモデルでWindows Me / Windows 98をお使いの場合

- 1 「モデムのプロパティ」ウィンドウで「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。
- 2 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

モバイルノート以外のモデルでWindows 2000をお使いの場合

- 1 「電話とモデムのオプション」ウィンドウの「モデム」タブでお使いのモデムを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。
- 2 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

 **チェック!!** ・モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音がしないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接続できない」(p.154)をご覧ください。

- ・上記の方法でも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、モデムの製造元、NECフィールドディングの各支店、営業所などにご相談ください。

「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される

- 全OS** 「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするこのメッセージが表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン作業」をクリックしてください。
- 「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

インターネットエクスプローラや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

- 全OS** インターネットエクスプローラやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、インターネットエクスプローラやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、オンラインサポートをクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

- 全OS** 発信命令の送り方や条件は正しいですか？

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確かめてください。

メモ ATコマンド一覧を見る方法

モデムが内蔵されているモデルでは、次のようにしてATコマンド一覧を参照することができます。

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」に次のように入力します。

- ・ Windows Me / Windows 98の場合

C:¥windows¥SCmodem¥Atc¥Html ¥Atc000.HTM

- ・ Windows 2000 / Windows NT 4.0の場合

C:¥WINNT¥SCmodem¥Atc¥Html ¥Atc000.HTM

3 「OK」ボタンをクリックします。

コンパクトオールインワンノート、モバイルノート(長時間駆動型)で「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me 98 2000 自動受信が正しく行われなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、次のような原因が考えられますので、エラーメッセージの画面を閉じて、設定を確認してください。


- ・ メールパスワードの入力に誤りがあった
- ・ インターネット接続用のパスワードが保存されていなかった
- ・ メール自動受信を行う前に、メールソフトを終了していなかった
- ・ メールソフトにパスワードが保存されていなかった
- ・ メールソフトに複数のアカウントが登録されていた
- ・ Windows 2000をお使いの場合、ログオン時のパスワードの入力に誤りがあった

OutlookでFAX受信したファイルが開けない

全OS ユーザ名に全角文字が含まれていると、OutlookでFAX受信したファイルが開けないことがあります。新たに半角英数字だけを使用したユーザ名を設定し、そのユーザ名でログオンしてOutlookを使用してください。

インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない

全OS ダイヤルアップネットワーク接続の場合、インターネットエクスプローラを終了しても回線が接続されたままになることがあります。回線の切断が必要な場合は、インジケータ領域(タスクトレイ)の「ダイヤルアップネットワーク」アイコンを右クリックし、「切断」をクリックしてください。



ネットワーク(LAN)

ネットワークに接続できない

全OS 接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとハブがリンクケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

全OS 設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

「マイネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」に「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

「マイネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」に自分のコンピュータしか表示されない

表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」または「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンで調べることができます。

NT ネットワーク関連機能サービス(サービス、プロトコル等)を新しく追加した後にServicePackを適用するのを忘れていませんか?

イベントビューアに「Serverサービスは次のエラーのため終了しました。このコマンドを処理するのに必要な記憶領域をサーバ側で確保できません」とエラー表示されていたら、ServicePackをもう一度適用した後に、再起動してください。

共有ドライブやフォルダが使えない

Me **98** 「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか?

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。

全OS お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか?

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

全OS 共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか?

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りと書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。




お客様が共有を設定した当初はアクセス権は以下の設定になっています。

- ・ Windows Me / Windows 98の場合
「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。
- ・ Windows 2000 / Windows NT 4.0の場合
「フルコントロール」の設定になっています。他のユーザから読み取りも書き込みもできます。

【F12】を押してもネットワークブートができない

全OS 「NEC」のロゴ画面で【F12】を押し続けてもネットワークブート処理が実行されないことがあります。この場合、再度【F12】を押しながら電源を入れてください。



赤外線通信 (赤外線通信ポートのあるモデル)

赤外線通信できない

全OS 本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？

お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。

全OS デバイスを正しく設定していますか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください。正しい設定を行ってください。

Me **98** **2000** デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」が付いていませんか？

「デバイスマネージャ」画面で、赤外線通信のところに赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」が付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

Windowsのヘルプまたは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。

全OS BIOSの設定は正しいですか？

コンパクトオールインワン ノートのワイヤレスモデル及び内蔵指紋センサモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動 (Auto)」に設定し、「赤外線ポート切り替え(IR Port Switch)」を「IR」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

その他のモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動 (Auto)」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

モバイルノート(長時間駆動型)で、Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された(Windows 98)

98 デバイスを正しく設定していますか？

BIOSセットアップメニューで、赤外線ポートを使用しない設定にしている場合は、このようなメッセージが表示されます。

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり、赤外線通信機能を利用するための準備を行ってください。

Intellisyncエージェント終了後、「終了してよろしいですか？」の画面で「いいえ」を選択した場合、デスクトップ画面およびタスクバーよりIntellisyncエージェントの画面表示が消えてしまう(Windows 98)

98 画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)のIntellisyncエージェントをダブルクリックしてください。

Outlook Expressの「仕事」アイテムをシンクロナイズしたら、誤った期限が設定された(Windows 98)

98 リモート機側にある期限指定無し「仕事」アイテムを「PIMシンクロナイズ」で取り込むと、誤った期限が設定されることがあります。このような場合は、「PIMシンクロナイズ」終了後に誤った期限を修正するか、リモート機側にある「仕事」アイテムにあらかじめ期限を設定してから「PIMシンクロナイズ」を行ってください。



サウンド

デジタル出力からの音が鳴らない(モバイルノート(ベイ内蔵型))

Me **98** **2000** オーディオ機器と正しく接続されていますか?

本機の光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。

Me **98** **2000** オーディオ機器のサンプリングレートが、本機のサンプリングレートに対応していますか?

本機の光デジタル出力のサンプリングレートは48kHzです。接続先のオーディオ機器が48kHzのサンプリングレート入力に対応しているか確認してください。

「サウンドレコーダー」¹、「Jet-Audio Player」²、「Virtual CD 2」³などで正常に録音できない(Windows Me)

Me 下記の手順で設定してください

本機を再起動すると、「音量の調整」で設定した録音コントロールの設定が無効となり、正しく録音できない場合があります。

本機を再起動した場合は、以下の手順で録音コントロールを再設定してください。

- 1 インジケータ領域(タスクトレイ)の「音量」アイコンをダブルクリックする
- 2 「オプション」メニューから「プロパティ」を選択する
- 3 「音量の調整」欄で「録音」をクリックする
- 4 「表示するコントロール」で録音する項目を選択して「OK」ボタンをクリックする
- 5 一度、録音に使用する項目以外を選択し、再度、録音に使用する項目を選択しなおす



印刷

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

全OS プリンタは正しく接続されていますか? 正常な状態になっていますか?

プリンタのマニュアルを見て次の項目を確認してください。

- ・ プリンタの電源は入っていますか?
- ・ 接続ケーブルが外れていたり、接続不良を起こしていませんか?
- ・ 用紙切れ、トナーやインク切れになっていませんか?
- ・ プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか?

全OS 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、プリンタから印刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。

これで設定が終了しました。

全OS プリンタのテスト印字はできますか?

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

全OS プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタの製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。

全OS 使用したいプリンタ用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 ▶ プリンタドライバのセットアップ プリンタのマニュアル

全OS プリンタドライバの設定は正しいですか？

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 ▶ プリンタドライバの設定 プリンタのマニュアル

全OS デバイスの設定は正しいですか？

BIOSセットアップメニューの「パラレルポート(Parallel Port)」を「使用しない(Disabled)」設定にしている場合は、設定を解除してください。

参照 ▶ デバイスの設定 『活用ガイド ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された

全OS 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィンドウが表示されることがあります。

このようなときは、「プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される」の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。



フロッピーディスク

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない

全OS フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

「デバイスの準備ができていません」または「A:ドライブにディスクを挿入してください。」と表示されたとき

Windows 98 / Windows 2000 / Windows NT 4.0の場合、ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

Windows Meの場合は、「キャンセル」をクリックしてディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れてください。

上記の処置をしても、同じメッセージが表示されたときは、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

チェック!! 他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。


メモ

ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」または「A:ドライブはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、フォーマットされていないことが考えられます。ディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

-  **チェック!!** Windows Me上で1.2MBでフォーマットされたフロッピーディスクを読むには、3モードフロッピードライバをセットアップする必要があります。『活用ガイド ハードウェア編』を参照してドライバをセットアップしてください(モバイルノートを除く)


読み込みはできるが、書き込みができない

-  **全OS** ディスクがライトプロテクトされていませんか?



ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

 **メモ**

フロッピーディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるようにずらしてください。

-  **チェック!!** 必要なディスクをフォーマットしてしまわないよう、十分注意してください。大切なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

2DDのフロッピーディスクに書き込みができない(Windows Me / Windows 98)

-   **Me 98** 2DDのフロッピーディスクを720Kバイトでフォーマットした場合、いったんフロッピーディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。フォーマット後にフロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していても、エラーが発生する場合があります。なお、クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。

ディスクコピーやフォーマットができない(Windows Me / Windows 98)

- Me 98** 1.2Mバイトのディスクをコピーしようとしていたり、ディスクを1.2Mバイトでフォーマットしようとしていませんか？

Windows MeやWindows 98では、1.2Mバイトでフォーマットされたディスクをディスクコピーしたり、フロッピーディスクを1.2Mバイトの容量でフォーマットしたりすることはできません。

次の手順でセットしたフロッピーディスクの容量を確認してください。

- 1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「3.5インチフロッピーディスク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「全般」タブでフロッピーディスクの容量を確認します。

ハードディスク

ハードディスクの空き領域が足りない

全OS ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

ハードディスクを増設する

「ごみ箱」を空にする

「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

チェック!! ゴミ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはゴミ箱に保管されずに消えてしまいます。

TEMPフォルダの中身を削除する

メモ

アプリケーションを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。

インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する

インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照 ・添付アプリケーションの削除 PART2の「削除のしかた」

・別売のアプリケーションの削除 アプリケーションに添付のマニュアル

「ディスク クリーンアップ」でハードディスクの必要のないファイルを削除する(Windows Me/Windows 98/Windows 2000)

「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する(Windows 98)

参照 ディスククリーンアップ、ドライブスペース Windowsのヘルプ

ファイルをゴミ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

- 全OS** 削除したり「ゴミ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ゴミ箱」に保管されます。「ゴミ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ゴミ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ゴミ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

- 全OS** カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト = 1,000,000 バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト = $1,024 \times 1,024 = 1,048,576$ バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう(Windows Me / Windows 98)

- Me 98** 頻繁にファイルにアクセスするソフトが起動していませんか？

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするため、このような現象が起こります。スキャンディスクを実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか削除してください。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される(Windows Me / Windows 98)

Me **98** ほかのアプリケーションを実行していませんか？

Windowsがインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。

このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい(Windows Me / Windows 98)

Me **98** 2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域にするには、FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成する必要があります。

参照▶ FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない
(Windows Me / Windows 98)

Me **98** FAT16ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成していませんか？

FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください。FAT32ファイルシステムを適用すると、一つの領域に2Gバイト以上の領域確保ができます。

参照▶ FAT32ファイルシステム Windowsのヘルプ

「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に変換できない (Windows 98)

- 98 MS-DOSモード時に不要なドライバや常駐プログラムを組み込んでいませんか?

MS-DOSモード時に組み込まれる不要なドライバや常駐プログラムを削除および無効にします。

Windows が起動するドライブ内の「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」を「メモ帳」などで開き、無効にするドライブの行の先頭に、次のように半角文字で「REM」を追加して保存します。

REM <無効にするドライブの行>

ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい

- 全09 ハードディスクを長時間使用している間に、まれにハードディスク自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大する恐れがあります。これを防ぐために、こまめにハードディスクをメンテナンスしてください。
メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。

詳しくはWindowsのヘルプまたは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタについて

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。

エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。



CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM

ディスクをセットしても自動起動しない

全OS ディスクは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。ディスクのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windowsのデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして起動してください。

Me **98** 自動起動が設定されていますか？

次の手順で確認します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「CD-ROM」の左の \oplus をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。
- 4 「オプション」の「挿入の自動通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、 (オン) にします。

メモ

自動起動の設定を解除する場合は、「挿入の自動通知」のチェックボックスを (オフ) にします。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
- 6 「はい」ボタンをクリックして本機を再起動します。

データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

全OS ディスクは正しくセットされていますか？

ディスクの表裏を確認して、ディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。

全OS ディスクが汚れていませんか？

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。

全OS ディスクに傷が付いていませんか？

傷がついているディスクは使えないことがあります。

メモ

添付されているディスクに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

全OS ディスクがセットされているドライブに何らかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

全OS このパソコンで使えるディスクを使用していますか？

このパソコンで使えるディスクを使ってください。

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。Windowsを使うときは、Windowsに対応したCD-ROMを使ってください。

全OS 音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

全OS 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。

動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

全OS 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。

メモ

アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、再生がよりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

全OS 省電力機能やパワーマネージメント機能を使用する設定になっていませんか？

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフにしてください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

全OS 省電力機能やパワーマネージメント機能を使用する設定になっていませんか？

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音楽を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフに設定してください。

CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

Me 98 ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の左の \oplus をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。
- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」の \blacktriangledown をクリックして表示された一覧の中から選びます。
終了ドライブ文字も自動的に変更されます。

メモ

ドライブ文字を特に指定しなければ、CD-ROMドライブのドライブ番号は、最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます。

例：最後のハードディスクがDドライブのとき、Eドライブが割り当てられる

Windows 98の場合(USBインターフェイス用のCD-ROM使用時を除く)は、ドライブ文字を指定しないとCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号はQドライブになります。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。
- 6 Windowsの再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

2000 ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「管理ツール」アイコンをダブルクリックします。
「管理ツール」ウィンドウが開きます。

- 2 「コンピュータの管理」アイコンをダブルクリックします。
「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。
- 3 「記憶域」をクリックし「ディスクの管理」をクリックします。
- 4 「CDROM」ボタンを右クリックし、一覧から「ドライブ文字とパスの変更」をクリックします。
- 5 「編集」ボタンをクリックします。
- 6 をクリックして、表示された一覧の中から選択します。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。
ドライブ文字の変更を確認するメッセージが表示されます。
- 8 「はい」をクリックします。
- 9 「コンピュータの管理」を終了します。

NT ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「管理ツール(共通)」 「ディスクアドミニストレータ」をクリックします。
- 2 「初めてディスクアドミニストレータを実行するか、または前回の実行後に1つ以上のディスクがコンピュータに追加されたと判断しました。」と表示された場合には、「OK」ボタンをクリックします。
- 3 「ディスク0に署名がありません。」と表示された場合は、「はい」をクリックします。
ディスクアドミニストレータが起動します。
- 4 CD-ROMの領域を選択して、「ツール」メニューの「ドライブ文字の割り当て」をクリックします。
- 5 をクリックして、表示された一覧の中から選びます。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
「新しいドライブ文字の割り当ては、今すぐ行われます。続行しますか？」のメッセージが表示されます。
- 7 「はい」をクリックします。
- 8 「ディスクアドミニストレータ」を終了させます。

CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら

- 全OS** CD-ROMを使用するプログラムの実行中に、ディスクを取り出しませんでしたか？

CD-ROMを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したディスクをセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使いたい(Windows 98)

- 98** 出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使うことはできません。MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使うためには、設定が必要です。PART5の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」(p.220)をご覧ください。



周辺機器

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me **98** **2000** 正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

Me **98** **2000** 割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャンネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、「デバイスマネージャ」で行います。

「デバイスマネージャ」を表示させるには次の手順で行って下さい

1 「コントロールパネル」を開いて「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 次の手順を行います。

・ Windows Me / Windows 98の場合

「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

・ Windows 2000の場合

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。

参照 ▶ 割り込みレベル、DMAチャンネル 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャンネル」

取り付けた周辺機器のところに赤い「×」や黄色い「!」や緑の「?」が付いているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

Me **98** **2000** 周辺機器の設定は正しいですか?

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 周辺機器のマニュアル

トラブルをおこしたドライバを削除し、正しいドライバをインストールするときには、セーフモードでWindowsを起動して、次の操作にしたがって設定してください。

Windows Me / Windows 98の場合

1 .セーフモードでWindowsを起動する

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】を押し続けます。

・ Windows Meの場合

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。

・ Windows 98の場合

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

メモ

【Ctrl】を押し続けても上記の画面が表示されない場合は、再起動してNECのロゴが表示されたあと、すぐに【F8】を何回か押してください。

3 「3.Safe mode」を選び、【Enter】を押します。

Windows Meの場合は手順6に、Windows 98の場合は手順4に進んでください。

4 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角 / 全角】を押します。

5 「WindowsはSafeモードで実行されています。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

6 Windowsがセーフモードで起動します。



セーフモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順を実行してください。

2 取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。

- 2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。

- 3 「全般」タブをクリックして「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の (オン) をクリックして (オフ) にします。

- 4 「OK」ボタンをクリックします。

Windowsを再起動すると、通常モードで起動します。

3 周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

- 1 上記「取り付けた周辺機器のドライバを無効にする」の手順1~2を行います。

- 2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。



最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。Windowsのヘルプまたは「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」(p.193)をご覧ください。

Windows 2000の場合

1 セーフモードでWindowsを起動する

- 1 本機の電源を入れます。

- 2 画面下に「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについてはF8キーを押してください。」と表示されたら【F8】を押し、表示される画面で「セーフ モード」を選び【Enter】を押します。
- 3 「オペレーティング システムの選択」画面が表示された場合は、画面左下に「セーフ モード」の表示があるのを確認し、Windows 2000を選び【Enter】を押します。
Windows 2000にログオンします。
- 4 「Windowsはセーフモードで実行されています。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。

メモ

セーフモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順を実行してください。

2 取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
デバイスマネージャの画面が表示されます。
- 3 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
- 4 「全般」タブをクリックして「デバイスの使用状況」の▼をクリックしこのデバイスを使わない(無効)を選択します。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
Windowsを再起動すると、通常モードで起動します。

3 周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

- 1 上記「取り付けた周辺機器のドライバを無効にする」の手順1~3を行います。

2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。



最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」(p.193)をご覧ください。

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった(Windows NT 4.0)

NT 正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

NT 割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

割り込みレベル、DMAチャネルなどについては、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」を参照してください。



周辺機器の割り込みやドライバなどの設定をWindowsで確認する「スタート」ボタン「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」の順にクリックし、「Windows NT 診断プログラム」の「リソース」タブで確認します。

NT 周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やデバイスドライバなどのインストールが必要な場合があります。



- ・周辺機器のマニュアル
- ・『活用ガイド ハードウェア編』のPART2「周辺機器を使う」

プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」が表示され、周辺機器が動作しない(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me **98** **2000** ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい(Windows 98 / Windows 2000)

98 **2000** 「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」でWindows Updateを利用するとMicrosoftのサーバに接続し、最新のデバイスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

Windows 98の場合


- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 一覧の中から、該当するハードウェアの左の田をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウインドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 8 「Microsoft Windows Update」の (オフ) をクリックして (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

- 9 「更新されたドライバ(推奨)」の (オフ) をクリックして (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows 2000の場合

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。
- 2 一覧の中から、該当するハードウェアの左の  をクリックし、該当するデバイス名をダブルクリックします。
- 3 「ドライバ」タブをクリックします。
- 4 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックします。
- 6 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「Microsoft Windows Update」の (オフ) をクリックして (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

インターネットに接続していない場合は「ダイヤルアップ接続」の画面が表示されますので、インターネットに接続してからダウンロードしてください。

- 8 「更新されたドライバ(推奨)」の (オフ) をクリックして (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

- Me** **98** **2000** Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「システム情報」をクリックします。

2 次の手順を行います。

- ・ Windows Me / Windows 98の場合
メニューバーの「ツール」「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。
- ・ Windows 2000の場合
メニューバーの「ツール」「Windows」「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。

ドライブ名がおかしい(Windows Me)

- Me** 周辺機器を接続したままでスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしませんでしたか?

周辺機器を接続したままスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にすると、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ名が変更される場合があります。このような場合は、本機を再起動してください。

「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された(Windows 98)

- 98** プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

1 「OK」をクリックします。

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2 「C: ¥WINDOWS ¥OPTIONS ¥CABS」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

「Windows 2000 CD-ROM」のラベルの付いたCDをCD-ROMドライブに挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された(Windows 2000)

2000 プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

1 「OK」をクリックします。

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2 「C:¥i386」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。



アプリケーション

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない

全OS リソースが不足していませんか？

パソコンのシステムリソースが不足すると動作が不安定になり、フリーズすることがあります。システムリソースの空き容量を確認してください。リソース不足の場合は、以下の操作を行い、システムリソースの空きを確保してください。

起動中のアプリケーションを終了する

複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースの空き容量が少なくなります。起動中のアプリケーションを終了してください。

また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなる場合があります。この場合は、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。また、「リソースが足りません」というようなメッセージが表示されて、終了したいアプリケーションが選択できないときは、次の手順でアプリケーションを終了してください。

- 1 【Alt】を押しながら【Tab】を押します。
ウィンドウが表示されます。
- 2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。
- 3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。
メニューが表示されます。
- 4 「閉じる」をクリックします。

これでアプリケーションを終了することができます。

作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐アプリケーションを終了する

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にある使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了する項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了してください。

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。

以上の操作をしても問題が解決しない場合、次の手順で常駐アプリケーションを非常駐にしてください。

常駐アプリケーションを非常駐にする(Windows Me / Windows 98)

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「システム情報」をクリックします。
- 2 「ツール」メニューの「システム設定ユーティリティ」をクリックします。
- 3 「スタートアップ」タブをクリックし、使用不可にしたいアプリケーションのチェックをはずします。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「はい」ボタンをクリックします。
本機が自動的に再起動します。
これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

常駐アプリケーションを非常駐にする(Windows 2000 / Windows NT 4.0)

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「スタートアップ」をクリックし、非常駐にしたい常駐アプリケーションを右クリックします。
- 2 「削除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 本機を再起動します。
これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

全OS アプリケーションはこのパソコンに対応していますか？

アプリケーションによっては、このパソコンで動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

全OS アプリケーションの削除をしませんでしたか？

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

全OS アプリケーションは省電力機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションを使用中に省電力機能を使用すると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、省電力機能を使用しないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを操作し続けて、強制的に電源を切ってください。

アプリケーションが起動しない

全OS アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

複数のアプリケーションを同時に起動している場合

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときはそれらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できなくなることがあります。

参照▶ アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べるには アプリケーションのマニュアル

ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合

ファイルサイズの大きい壁紙を使用していると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。お使いの壁紙のファイルサイズを確認し、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

全OS アプリケーションは省電力機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションを使用中に省電力機能を使用すると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、省電力機能を使用しないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを操作し続けて、強制的に電源を切ってください。

全OS アプリケーションの削除をしませんでしたか？

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。

それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

アプリケーションを強制的に終了させたい

全OS アプリケーションがフリーズ(ハングアップ)するなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してください。

チェック!! この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

Windows Me / Windows 98の場合

1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

チェック!! 「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。「プログラムの強制終了」の画面を閉じる場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。

2 右側に「応答なし」と表示されているアプリケーションがあるときはアプリケーション名をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。

異常を起こしているアプリケーションが強制的に終了します。

Windows 2000 / Windows NT 4.0の場合

1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押します。

- ・ Windows 2000の場合
「Windowsのセキュリティ」画面が表示されます。
- ・ Windows NT 4.0の場合
「Windows NTのセキュリティ」画面が表示されます。

2 「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。

- ・ Windows 2000の場合
「Windowsタスクマネージャ」ウインドウが表示されます。
- ・ Windows NT 4.0の場合
「Windows NTタスクマネージャ」ウインドウが表示されます。

3 「アプリケーション」タブをクリックします。

4 「状態」欄に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリックします。 異常を起こしているアプリケーションが強制的に終了します。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

全OS アプリケーションによっては、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。

参照 画面の表示色を変更するには 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

アプリケーションをインストールできない

全OS アプリケーションはこのパソコンに対応していますか？

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

全OS アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールし直してください。

Me **98** **2000** アクティブデスクトップをWebページで表示していませんか?(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、アプリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアクティブデスクトップの設定を変更してください。

1 デスクトップ上の何も無いところで、右クリックします。

2 次の手順を行います。

- ・ Windows Me / Windows 2000の場合
表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」、「Webコンテンツの表示」をクリックします。
「Webコンテンツの表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。
- ・ Windows 98の場合
表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」、「Webページで表示」をクリックします。
「Webページで表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。

全OS 「インストール先のハードディスクが空き領域不足のためインストールできません」というようなメッセージが表示されませんでしたか?

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスクの空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

参照 ハードディスクの空き領域を増やすには 「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.178)

メモ


どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。

全OS お使いのOSに対応していないアプリケーションをインストールしようとしていませんか?

アプリケーションの中にはOSによってはインストールできないものがあります。アプリケーションがお使いのOSに対応しているか確認してください。または各アプリケーションの製造元にご確認ください。

98 MS-IME98使用時にWindows 3.1用のアプリケーションを実行しようとしませんでしたか？

MS-IME98を標準でご使用の状態 でWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止することがあります。このような場合は次のように設定してください。

-  **チェック!!** ・通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。
- ・次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、もう一度、次の方法を行う必要があります。

 **メモ**

次の操作を行うとWIN.INIファイルが変更されます。まず、Windowsのフォルダ(購入時の状態では、Cドライブ)にあるWIN.INIファイルのバックアップ(コピー)を取っておくことをおすすめします。

- 1 まず、クイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順6へ進んでください。
- 2 「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 3 「Windowsファイル」タブで「ファイルの種類」の「アクセサリ」をクリックして「詳細」ボタンをクリックします。
- 4 「クイックビューア」の左についているチェックボックスをクリックして (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
クイックビューアのセットアップが行われ、Windowsのデスクトップの画面が表示されます。
- 6 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

- 7 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックし、メニューの「クイックビューア」をクリックします。
選択したアプリケーションの情報(テクニカル ファイル情報)を表示するウインドウが開きます。
- 8 「モジュール名」の右側に表示されている文字をメモします。
ここでは仮に「ABC」とします。
- 9 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。
- 10 「名前」欄に「WIN.INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。
- 11 「検索」メニューから「検索」をクリックします。
「検索」ダイアログが開きます。
- 12 「検索する文字列」欄に「Compatibility」と入力し、「次を検索」ボタンをクリックします。
本文内の「Compatibility」が選ばれます。
- 13 「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- 14 キーボードの【Fn】を押しながら【Home】を押します。
「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- 15 キーボードの【Enter】を押します。
新しい行が作成されます。
- 16 手順8でメモした文字(ここではABC)を入力します。
- 17 手順16で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。
手順15で作成された行に次の内容が表示されます。
ABC=0x00400000
- 18 「メモ帳」「ファイル」メニュー 「上書き保存」をクリックします。
- 19 「メモ帳」「ファイル」メニュー 「メモ帳の終了」をクリックします。
メモ帳が終了します。

20 「クイックビューア」の「ファイル」メニューから「クイックビューアの終了」をクリックします。

クイックビューアが終了します。

これでWindows 3.1対応アプリケーションが使用できます。

メモ

Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックしたとき表示されるメニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセットアップされていません。

クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

再セットアップするとき、インストールするアプリケーションを選びたい

- 全OS** アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

使用しているWindows以外のWindows用のアプリケーションを使用したい

- 全OS** 使用しているWindows以外のWindows用のアプリケーションがそのまま使えるかどうか(Windows MeでWindows 98版のアプリケーションを使う場合など)はアプリケーションによって異なります。

問題なく使用できるかどうかについては、アプリケーションの購入元にご確認ください。


MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない

- 全OS** 「MS-DOSプロンプト」画面をウィンドウ状態で使用していませんか？

MS-DOS通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」画面をフルスクリーンにして使用してください。

ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない(モバイルノート(長時間駆動型)を除く)

全OS 「ワンタッチスタートボタン」の設定は正しく設定されていますか?

インジケータ領域(タスクトレイ)の  をダブルクリックし、表示された「ワンタッチスタートボタンの設定」の画面で設定を確認してください。

参照 ワンタッチスタートボタンを設定する 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」



その他

日付や時刻が正しく表示されない

全OS 内蔵のカレンダー用電池は十分に充電されていますか？

本機の内蔵時計はカレンダー用電池で動いています。内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機のACアダプタを約40時間以上接続したままにしてカレンダー用電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

日付と時刻を設定する

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 日付と時刻を設定します。

3 「OK」ボタンをクリックします。

これで日付と時刻が設定されました。

Windows Updateができない(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)

Me **98** **2000** インターネットに正しく接続されていますか？

「接続できない」(p.154)をご覧ください、もう一度接続を確認してください。

Me **98** **2000** インターネットプロバイダとの契約はお済みですか？

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

Me **98** **2000** Windowsのユーザー登録はお済みですか？

Windows Updateを利用するには、Windowsのユーザー登録をしておく必要があります。

ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

「システムのプロパティ」の「全般」タブに、使用しているCPUと違う名前が表示される

全OS 表示だけの問題であり、動作上は問題ありません。

Windows Me起動ディスクを作成したい(Windows Me)

Me Windows Me起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動できなかったときに、フロッピーディスクドライブから起動するために使うものです。Windows Me起動ディスクは、次の手順で作成します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows Me起動ディスクからパソコンを起動したい(Windows Me)

Me 以下の手順で起動してください。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブにWindows Me起動ディスクをセットします。
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されません。
- 3 「Start computer with CD-ROM support.」が選択されていることを確認して、【Enter】を押します。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

4【半角/全角】キーを押します。

しばらくすると、「A: ¥ > _ 」と表示されます。

これで、Windows Me起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブからWindows Me起動ディスクを取り出して、本機の電源を入れ直してください。

Windows 98起動ディスクを作成したい(Windows 98)

- 98** Windows 98起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動できなかったときに、フロッピーディスクドライブから起動するために使うものです。Windows 98起動ディスクは、次の手順で作成します。

1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい(Windows 98)

- 98** 以下の手順で起動してください。

1 本機の電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブにWindows 98起動ディスク1をセットします。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

3 「Start computer with CD-ROM support」が選択されていることを確認して、【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

4 【半角/全角】キーを押します。

「Windows 98 起動ディスク2を挿入してください」と表示されます。

5 フロッピーディスクドライブから「Windows 98 起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク2」をセットします。

6 いずれかのキー【Enter】などを押します。

しばらくすると、「A: ¥ > _ 」と表示されます。

これで、Windows 起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブから Windows 98 起動ディスクを取り出して、本機の電源を入れ直してください。

起動ディスク(セットアップディスク)を作成したい(Windows 2000)

2000 セットアップディスクは、なんらかのトラブルにより Windows 2000 がハードディスクから起動できなくなったときに、フロッピーディスクから起動するために使うものです。

セットアップディスクを作成するには、フォーマット済みのフロッピーディスクが4枚必要です。

セットアップディスクは、次の手順で作成します。

1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」欄に「C: ¥ BOOTDISK ¥ MAKEBT32.EXE A: 」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

チェック! BOOTDISK フォルダを C ドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。

画面の指示に従ってセットアップディスクを作成してください。

作成が終了したら、1枚目のディスクをフロッピーディスクドライブに挿入してください。

3 「メモ帳」を起動し、A ドライブの「TXTSETUP.SIF」を開きます。

4 [Setup Data] セクションにある次の記述の先頭のセミコロン(;)を削除してから上書き保存します。

```
; SetupSourceDevice=¥ device ¥ harddisk0 ¥ partition1
```

この文の先頭のセミコロン(;)を削除する

harddisk は、ハードディスクの番号です(0 から始まります)。

partition は、パーティションの番号です(1 から始まります)。

ハードディスクパーティションの番号は、「コントロールパネル」を開き、「管理ツール」「コンピュータの管理」「記憶域」「ディスクの管理」で確認してください。

チェック!! この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。ご購入時にはi386フォルダはCドライブのルートにあります。修復セットアップを行うには、i386フォルダがCドライブのルートになければなりません。i386フォルダをCドライブのルートから移動する場合には注意してください。
また、i386フォルダをCドライブ以外に移動した場合は、harddiskとpartitionの番号が変わりますので記述を変更してください。

参照 起動ディスクを作成したい、修復再セットアップをしたい 『活用ガイド 再セットアップ編』の「システムを修復する」

動作状況が不安定になった

全OS LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしませんでしたか?

LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしないでください。

Windowsの電源管理で自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

「追加情報 READMEファイル」を参照したい

全OS 「スタート」ボタン 「プログラム」 「追加情報」をご覧ください。

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない (Windows Me / Windows 98)

Me 98 ネットワークの設定はされていますか?

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用するには、ネットワークの設定が必要です。

ご使用になるネットワーク環境にあわせて、「コントロールパネル」を開いて「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「クライアント」 「アダプタ」 「プロトコル」の設定を行ってください。

「コントロールパネル」「電源の管理」「アラーム」の機能の使いかたを知りたい(Windows 98)

98 アラーム使用時には、以下の点に注意してください。

- ・「音で知らせる」チェックボックスのチェックの有無に関わらず、音が鳴りません。
- ・「スタート」ボタン、「設定」「コントロールパネル」「サウンド」で設定を変更しても、設定したサウンドファイルが鳴らず、決まったサウンドファイルの音が鳴ります。

Windows 2000 Service Pack1を削除したい(Windows 2000)

2000 次の手順にしたがって削除してください。



チェック!!

- ・Windows 2000 Service Pack 1を削除する場合は、再セットアップ直後の状態でのみ行ってください。
- ・Windows 2000 Service Pack 1を再追加することはできません。再追加したい場合は、本機を再セットアップしてください。

- 1** 「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Windows 2000 Hotfix Pre-SP2 [See Q261643 for more information]」を選択し、「変更/削除」ボタンをクリックします。
ファイルの削除が始まります。
終了すると、再起動をうながす画面が表示されます。
- 3** 「OK」ボタンをクリックします。
本機が再起動します。
- 4** 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 5** 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Windows 2000 Service Pack 1」を選択し、「変更/削除」ボタンをクリックします。
- 6** 画面の指示に従ってWindows 2000 Service Pack 1を削除します。
削除が終了すると、再起動をうながす画面が表示されます。

- 7** 「OK」ボタンをクリックします。
本機が再起動します。
- 8** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 9** 「名前」欄に次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。
C: ¥WIN2K¥HOTFIX¥Q251381_W2K_X86_JA.EXE
しばらくすると再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 10** 「OK」ボタンをクリックします。
本機が再起動します。
- 11** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 12** 「名前」欄に次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。
C: ¥WIN2K¥HOTFIX¥Q253934_W2K_X86_JA.EXE
しばらくすると再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 13** 「OK」ボタンをクリックします。
本機が再起動します。
- 14** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 15** 「名前」欄に次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。
C: ¥WIN2K¥HOTFIX¥Q254049_W2K_SP1_X86_JA.EXE
しばらくすると再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 16** 「OK」ボタンをクリックします。
本機が再起動します。
- 17** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 18** 「名前」欄に次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。
C: ¥WIN2K¥HOTFIX¥Q261643_W2K_SP2_x86_JA.EXE
しばらくすると再起動をうながすメッセージが表示されます。

19 「OK」ボタンをクリックします。

本機が再起動します。

Office 2000 Personal、Office 2000 Professionalをお使いになる場合は、つづけて次の手順を行なってください。

20 「Office 2000 Personal」または「Office 2000 Professional Disc1」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

セットアッププログラムが起動します。

21 「キャンセル」ボタンをクリックし、画面の指示にしたがってセットアッププログラムを終了します。

「互換性のないバージョンのOLEAUT32.DLLが検出されました。」と表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

22 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

23 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックします。

<CD-ROMドライブ名> : ¥Support ¥oa4514.exe

ファイルのコピーが始まります。

ファイルのコピーが終了すると「Windows 2000 has been updated...」というメッセージが表示されます。


24 「OK」ボタンをクリックします。

本機が再起動します。

Microsoft Windows NT 4.0日本語版 Service Pack 6aを再度インストールしたい(Windows NT 4.0)

NT Windows NTモデルには、Microsoft Windows NT 4.0日本語版 Service Pack 6a(以降、Service Pack 6a)がインストールされています。新しいコンポーネントを追加または変更した場合は、再度Service Pack 6aをインストールする必要があります。

Service Pack 6aのインストール方法など詳しくは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「Service Pack 6」 「Service Pack 6について」をご覧ください。

-  **チェック!!** ・ Service Pack 6aをインストール中に、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」というメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。
- ・ Service Pack 6aをインストールする前に、一度、PowerProfiler for Windows NTを削除し、Service Pack 6aをインストールした後に、再度PowerProfiler for Windows NTをインストールしてください。
 - ・ CardWizard for Windows NTを使う場合は、Service Pack 6aをインストールする前に一度、CardWizard for Windows NTを削除し、Service Pack 6aをインストールした後に、再度CardWizard for Windows NTをインストールしてください。

PowerProfiler for Windows NTの削除

- 1 「Administrator」でログオンします。
- 2 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「インストールと削除」タブで、一覧から「PowerProfiler」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。
「ファイル削除の確認」画面が表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックします。
「PowerProfilerインストール解除」画面が表示されます。
- 5 「はい」ボタンをクリックします。
本機が再起動します。

これでPowerProfilerの削除は完了です。

PowerProfiler for Windows NTの追加

- 1 「Administrator」でログオンします。
- 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。
C: ¥NT40 ¥PowerPro ¥SETUP . EXE
「ようこそ」画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックします。

「インストール先の選択」画面が表示されます。

インストール先は、とくに必要のない限りは変更しないでください。

5 「次へ」ボタンをクリックします。

「PowerProfilerのreadmeファイルを表示しますか?」と表示されます。

6 「はい」ボタンをクリックします。

Readmeファイルはご覧になった後、閉じてください。

「セットアップが完了しました。」と表示されます。

7 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「終了」ボタンをクリックします。

本機が再起動します。

これで、PowerProfiler for Windows NTのインストールは完了です。

CardWizard for Windows NTの削除

「活用ガイド ハードウェア編」のPART2「PCカード」の「CardWizard for Windows NTの削除」をご覧になり、削除を行なってください。

CardWizard for Windows NTの追加

「活用ガイド ハードウェア編」のPART2「PCカード」の「CardWizard for Windows NTの追加」をご覧になり、追加を行なってください。

P A R T

5

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。



他のOSを利用する

- チェック!!** 本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、購入後はじめて起動したときにセットアップしたWindows以外では利用できません。

Windows 2000 Professionalを使う

本機で別売のWindows 2000 Professionalを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- ・ セットアップ手順
¥Win2K¥Setup.txt
- ・ セットアップ時の注意事項
¥Win2K¥Readme.txt

セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

Windows NT 4.0を使う (コンパクトオールインワン ノートの場合)

- チェック!!** モバイルノート、VersaPro Rコンパクトオールインワン ノートでは、Windows NT 4.0を使うことはできません。

本機で別売のWindows NT 4.0を使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- ・ セットアップ手順
¥NT40¥Setup.txt
- ・ セットアップ時の注意事項
¥NT40¥Readme.txt


セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

Windows Meを使う

本機で別売のWindows Meを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして「¥Win98¥SETUPME.TXT」をご覧ください。

- ・セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。
- ・ドライバのセットアップを行うとき、コントロールパネルに目的のアイコンが存在しない場合があります。その場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。
- ・Windows 98からWindows Meをアップグレードインストールする場合は、Windows Meをセットアップする前に本機に添付されている『活用ガイド ハードウェア編』をご覧になり、休止状態(ハイバネーション)の設定を解除してください。Windows Meへアップグレードした後は、Windows Meのハイバネーション機能を使用できるようになります。
- ・Windows Meを新規にインストールする場合は、ワイヤレス通信機能ドライバ、ワンタッチスタートボタンの設定、内蔵サウンド対応ドライバ、自動メール受信ユーティリティのセットアップが必要です。Windows 98からアップグレードインストールする場合には、必要ありません。


Windows 98/Windows 98 Second Editionを使う

-  **チェック!!** ・ここでの説明で記載されている「Windows 98」は、Windows 98 Second Editionを含んでいません。

本機で別売のWindows 98/Windows 98 Second Editionを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- ・Windows 98の場合
¥WIN98¥SETUP98.TXT
- ・Windows 98 Second Editionの場合
¥WIN98¥SETUPSE.TXT

セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

-  **チェック!!** PCカード(PCMCIA)の設定のセットアップは、Windows 98をインストールした場合のみに必要です。Windows 98 Second Editionをインストールした場合は必要ありません。



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、本機をMS-DOSモードで起動することができます。

- ✓チェック!!** プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特に、PC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは、MS-DOSモードやMS-DOSプロンプトでは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSアプリケーションやMS-DOSコマンドを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

✓チェック!! 「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

MS-DOSプロンプトを起動する

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!! MS-DOSモードでは、PCカードは使用できません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを利用する

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。ここでは、CD-ROMドライブを例に説明しています。CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルを使用している場合は、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。

- ✓チェック!!**
- ・CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブは、MS-DOSモードでは、CD-ROMドライブとしてのみ使うことができます。
 - ・USBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、USBコネクタからCD-ROM接続ケーブルを抜き差ししないでください。
 - ・USBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、MS-DOSモードにする前に『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧ください、使用中スリープ状態にならないように設定しておいてください。

- ・USBインターフェイス用のCD-ROMドライブをMS-DOSモードでお使いの場合は、CD-ROMドライブ以外のUSB機器を使用することはできません。
- ・USBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合、CD-ROMモデル以外では、以下の操作を行ってもCD-ROMドライブを使用することはできません。お使いのCD-ROMドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

現在のMS-DOSモードで内蔵または添付のCD-ROMドライブを使う場合
現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

USBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合

チェック!! Windowsの終了画面から「MS-DOSモードで再起動」を選択した場合には、専用の外付けCD-ROMドライブは使用できないのでご注意ください。

- 1 本機のUSBコネクタにCD-ROMドライブを接続する
- 2 本機の電源を入れる
- 3 「NEC」のロゴ画面が表示されたらキーボードの【F8】を押し続ける
- 4 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」の画面が表示されたら【5】を選択して【Enter】を押す
コマンドプロンプトの画面が表示されます。

C : ¥ > _

- 5 お使いになるCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- 6 次のように入力する

USB CD 

ファイル実行後、CD-ROMドライブはQドライブに割り当てられます。
これで、MS-DOSモードでCD-ROMドライブが使えるようになります。

その他のモデルの場合

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。
- 5 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 7 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブが使用可能になります。

新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。
 - 2 C: ¥COMMAND.COMをクリックする
プログラム名が反転表示されます。
- COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。
- 3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする
「Commandプロパティ」が表示されます。
 - 4 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が表示されます。
 - 5 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

USB インターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATのそれぞれのファイルに以下の記述を追加してください。

- MS-DOSモード用CONFIG.SYSファイル
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥USB_CD.SYS /
D:MSCD001
- MS-DOSモード用AUTOEXEC.BATファイル
C:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001 /
L:Q

- 6 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が閉じます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」が閉じます。
- 8 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COM
をダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。

USBインターフェイス用のCD-ROMドライブをお使いの場合、MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。これで設定は完了です。以降の手順は必要ありません。上記以外の場合は、引き続き下記のように操作してください。

- 9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

```
SETCD /A【Enter】
```

CD-ROMドライブがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。


- 10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

```
EXIT【Enter】
```

Windows 98が再起動します。

- 11 エクスプローラを起動していない場合は「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。

- 12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COM
をダブルクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

 **チェック!!** 新しいIMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。

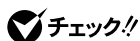
「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて終了します。続行しますか?」



アフターケアについて

保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、NECフィールドディングの各支店、営業所などで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。



チェック!!

- ・ご購入元、NECフィールドディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。
- ・故障箇所によっては、本機ご購入後にハードディスクドライブやメモリ内に保存されたデータを完全には復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM

■ パソコンの型名などは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールドディングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ 内蔵バッテリー モバイルノート(長時間駆動型)の場合)

本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「お客様登録」を行ってください。


譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと


譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)

-  **チェック!!**
- ・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
 - ・ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、121ware登録センター(TEL:0120-469-121)まで、ご連絡のうえ必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「お客様登録」に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

-  **チェック!!**
- 「お客様登録申込書」が未使用で残っていても、「お客様登録申込書」は使わないでください。

記載内容

本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入された店の名称、住所、電話番号


あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒185-8501 東京都府中市日新町一丁目10番地 (NEC府中事業場)
NEC 121ware登録センター係行

本機の廃棄方法について

地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

-  **チェック!!** 一度ハードディスクに記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、ハードディスクをフォーマットしたりしても、復元できる場合があります。データを完全に消去したい場合には、市販のソフトなどを使うことをおすすめします。



索引

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたとき

セットアップの画面が表示されない	100
セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	100
セットアップ時に登録した名前、ふりがな、組織名を変更したい	100
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)	100
Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された	100

電源を入れたとき

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された	101
「Non-system disk or disk error」と表示された	101
カーソル以外、画面に何も表示されない	102
「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」と表示された (Windows Me/Windows 98)	102
ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、 またはピーッというエラー音がした	103
ディスプレイに何も表示されない	103
Windowsが起動しない	104
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示された(Windows Me)	106
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された(Windows 98)	106
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった (Windows Me/Windows 98)	107
「Checking file system on X:」と表示される(Windows NT 4.0)	108
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される	108
パスワードを忘れてしまった	109
Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」のメッセージが 表示された	110

電源を切るとき

正しい電源の切りかたを知りたい	112
Windowsが終了できない(Windows Me/Windows 98)	113
電源が切れない	113
強制的に電源を切りたい	114
キーボードの【  】を押し、保護エラーが表示された(Windows 98)	114

省電力機能(Windows Meの場合)

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない	115
スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)からの 復帰(レジューム)時、画面が表示されない	115
休止状態(ハイバネーション)にしようとするスタンバイ状態(サスペンド)に なってしまう	116

Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された	116
休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)に失敗した	116
スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない	118
スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた	118

省電力機能(Windows 98の場合)

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない	119
スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時、画面が表示されない	119
休止状態(ハイバネーション)にしようとするスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう	120
ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される	120
Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された	121
休止状態(ハイバネーション)にできない	121
スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない	121
スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた	122
「システム スタンバイ」の設定どおりにスタンバイ状態(サスペンド)にならない	122
休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時に英語のメッセージが表示される	123

省電力機能(Windows 2000の場合)

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない	124
休止状態(ハイバネーション)にできない	124
スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない	125
スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない	126
スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた	126
スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら、「コンピュータのロックの解除」画面が表示された	126
休止状態(ハイバネーション)から正しく復帰(レジューム)できない	127

省電力機能(Windows NT 4.0の場合)

レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない	128
レジュームしたときに、何も画面に表示されない	128
サスペンドできない	129

自動的にサスペンドしない	129
サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた	129

バッテリー

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない	130
インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)	130
フル充電したのに、バッテリー充電ランプが点灯する	131
バッテリー充電ランプが点滅する	131

表示

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる	132
デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい (Windows 98 / Windows 2000)	132
Internet Explorer 4.01 SP2でのアクティブ デスクトップではなく、 Windows NTの画面にしたい(Windows NT 4.0)	133
アクティブデスクトップで「Webコンテンツの表示」にチェックをつけたら「インターネット接続が設定されていないため、Active Desktopの項目を表示できません。」というエラーが表示された(Windows 2000)	134
MS-DOSプロンプト画面(コマンドプロンプト画面)がフルスクリーンになってしまった	134
MS-DOSモードを終了してWindowsに戻りたい(Windows 98)	134
MS-DOSプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させても画面が表示されない(Windows Me / Windows 98)	134
MS-DOSプロンプト画面で、Windowsのスクリーンセーバーが起動した (Windows Me / Windows 98)	134
ディスプレイの省電力機能を設定できない(Windows Me / Windows 98)	135
「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される (Windows Me / Windows 98)	136
表示できるはずの高解像度を選べない(Windows Me / Windows 98)	136
表示できるはずの高解像度を選べない(Windows 2000)	139
ディスプレイに何も表示されない(Windows Me / Windows 98)	140
画面が真っ暗になった	141
表示や色がおかしい	141
解像度や表示色を変更できない(Windows Me / Windows 98)	141
スクリーンセーバー復帰時に保護エラーが表示された(Windows Me / Windows 98)	142

NXパッド

画面回転機能使用時にNXパッドの操作と画面のポインタの動作が合わない (モバイルノートの場合)	143
NXパッドの拡張機能を使用したい	143

何も反応しない、または反応が鈍い	143
NXパッドが動作しない	146

文字入力

キーボードのキーを押しても、何も反応しない	147
別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)	147
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	150
記号などで入力できない文字がある	151
MS-DOS プロンプト(コマンドプロンプト)のとき、バックslash(\)が入力できない	151
キーボード操作でログオフしたら、マウスポインタが動かなくなった(Windows 2000)	151

ファイル保存

ハードディスクに保存できない	153
フロッピーディスクに保存できない	153
長いファイル名をつけられない。表示できない	153

インターネット / パソコン通信

接続できない	154
「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されているか確認してください。」と表示される	157
文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する	158
ファイルを添付したメールをうまく送れない	159
「発信音がありません。」と表示された	160
「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)	162
「回線はビジーです。」と表示された(Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)	163
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)	163
「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号 (“ 0 ”) の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示 された	163
ダイヤラでダイヤルできない	164
モデムで電話できるか確認したい	164
「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される	165
インターネットエクスプローラや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい	165
自動発着機能が作動しない	165
コンパクトオールインワンノート、モバイルノート(長時間駆動型)で「自動メール受信の 実行中にエラーが発生しました。」と表示された (Windows Me / Windows 98 / Windows 2000)	166
OutlookでFAX受信したファイルが開けない	166
インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない	166

ネットワーク(LAN)

ネットワークに接続できない	167
共有ドライブやフォルダが使えない	168
【F12】を押してもネットワークブートができない	169

赤外線通信(赤外線通信ポートのあるモデル)

赤外線通信できない	170
モバイルノート(長時間駆動型)で、Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された(Windows 98)	171
Intellisyncエージェント終了後、「終了してよろしいですか?」の画面で「いいえ」を選択した場合、デスクトップ画面およびタスクバーよりIntellisyncエージェントの画面表示が消えてしまう(Windows 98)	171
Outlook Expressの「仕事」アイテムをシンクロナイズしたら、誤った期限が設定された(Windows 98)	171

サウンド

デジタル出力からの音が鳴らない(モバイルノート(ベイ内蔵型))	172
「サウンドレコーダー」 「Jet-Audio Player」 「Virtual CD 2」などで正常に録音できない(Windows Me)	172

印刷

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される	173
印刷しようとしたら「FAX送信」 「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された	174

フロッピーディスク

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない	175
読み込みはできるが、書き込みができない	176
2DDのフロッピーディスクに書き込みができない(Windows Me / Windows 98)	176
ディスクコピーやフォーマットができない(Windows Me / Windows 98)	177

ハードディスク

ハードディスクの空き領域が足りない	178
ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない	179
領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない	179
スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう(Windows Me / Windows 98)	179
スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される(Windows Me / Windows 98)	180
2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい(Windows Me / Windows 98)	180

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない(Windows Me/Windows 98)...	180
「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に 変換できない(Windows 98).....	181
ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい	181

CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM

ディスクをセットしても自動起動しない.....	182
データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする	183
再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない	184
動画の再生中に画面が消えてしまう	184
音楽CD再生中に音楽が止まってしまう	184
CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブの ドライブ番号を変えたい	185
CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら	187
MS-DOSモードでCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROM ドライブを使いたい(Windows 98).....	187

周辺機器

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが 起動しなくなった。他の機能が使えなくなった (Windows Me/Windows 98/Windows 2000)	188
別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが 起動しなくなった。他の機能が使えなくなった(Windows NT 4.0)	192
プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャ の画面に黄色い「！」が表示され、周辺機器が動作しない (Windows Me/Windows 98/Windows 2000)	193
Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを 更新したい(Windows 98/Windows 2000).....	193
Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい (Windows Me/Windows 98/Windows 2000)	194
ドライブ名がおかしい(Windows Me).....	195
「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックして ください。」というメッセージが表示された(Windows 98).....	195
「Windows 2000 CD-ROM」のラベルの付いたCDをCD-ROMドライブに挿入して 「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された(Windows 2000)	196

アプリケーション

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない	197
アプリケーションが起動しない	199
アプリケーションを強制的に終了させたい	200
フルカラーにするようにというメッセージが表示された	201
アプリケーションをインストールできない	201
再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい	205

使用しているWindows以外のWindows用のアプリケーションを使用したい	205
MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない	205
ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない (モバイルノート(長時間駆動型)を除く)	206

その他

日付や時刻が正しく表示されない	207
Windows Updateができない(Windows Me/Windows 98/Windows 2000)	207
「システムのプロパティ」の「全般」タブに、使用しているCPUと違う名前が表示される	208
Windows Me起動ディスクを作成したい(Windows Me)	208
Windows Me起動ディスクからパソコンを起動したい(Windows Me)	208
Windows 98起動ディスクを作成したい(Windows 98)	209
Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい(Windows 98)	209
起動ディスク(セットアップディスク)を作成したい(Windows 2000)	210
動作状況が不安定になった	211
「追加情報 READMEファイル」を参照したい	211
「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない (Windows Me/Windows 98)	211
「コントロールパネル」「電源の管理」「アラーム」の機能の使いかたを知りたい (Windows 98)	212
Windows 2000 Service Pack1を削除したい(Windows 2000)	212
Microsoft Windows NT 4.0日本語版 Service Pack 6aを再度インストールしたい (Windows NT 4.0)	214

索引

英字

Acrobat Reader	28, 58, 85
CD-R	182
CD-ROM	182
CD-RW	182
CyberAccess	34, 61, 87
DirectCD	17, 18, 21
DVD-ROM	182
Easy CD Creator	17, 18, 21
FAT32	180, 181
Intellisync	28, 59, 85
Intel® LANDesk® Client Manager 6 (with NEC Extensions)	40, 64, 88
Masty Data Backup	43, 67, 90
MS-DOSプロンプト	134, 151, 220
NXパッド	143
Office 2000 Personal	25, 55, 76
Office 2000 Professional	26, 55, 79
Office XP Personal	22, 54, 73
Office XP Professional	23, 54, 74
Outlook Express	27
pcAnywhere 9.2 EX	43, 67, 91
PGP Personal Privacy	44, 68, 92
Virtual CD 2	28, 58, 84
VirusScan	34, 60, 86, 95

あ行

アイコン	72
アフターケア	227
アプリケーション	16, 197
インターネットエクスプローラ	27, 56
インターネット設定代替ツール	27, 57, 83
印刷	173
ウイルス	94

か行

解像度	136, 139, 141
キーボード	147
強制的に電源を切る方法	114

コンピュータウイルス	94
------------	----

さ行

サウンド	172
削除	71, 73
システムの復元	97
システムリソース	197
自動メール受信ユーティリティ	45
周辺機器	188
省電力機能	115, 119, 124, 128
セーフモード	189, 190
赤外線通信	170

た行

追加	52, 54
電源	100, 101, 112
トラブルチェックシート	241

な行

日本語入力	150
ネットワーク	167

は行

ハードディスク	97, 178
パスワード	108, 109
バックアップ	97
バッテリー	130
表示	132
ファイル	153
プリンタ	173
フロッピーディスク	175

ま行

メンテナンス	97
モデム	157, 164

ら行

リソース	197
------	-----

わ行

ワンタッチスタートボタンの設定	49
-----------------	----

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成	
ハードウェア	
本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	GB(ギガバイト) MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	
周辺機器 品名・型名(メーカー名)	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
OS のバージョンと発売メーカー	
Windows Me (バージョン)	Windows 98 (バージョン)
Windows 2000(バージョン)	Windows NT 4.0(バージョン)
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

そのトラブルはどんなときに起きましたか？

パソコンを起動するたびに起きる

そのアプリケーションを起動するたびに起きる

特定の操作を行うと起きる

はじめて起きた

その他に気づいたことがあれば書いてください。



活用ガイド

ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

初版 2001年5月

NEC

P

853-810028-140-A